

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-49

令和3年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-49

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年12月10日
至 令和3年6月11日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日) 関原発第545号 (2021年 1月25日) 関原発第 60号 (2021年 5月12日) 関原発第 125号 (2021年 5月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-49

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 12月10日	良	山形英男	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] 副主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	燃料装荷後に実施される適合性確認検査に係るものを除く。

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-49

検査年月日：令和2年12月10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-49

検査年月日：令和2年12月10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	◎ 良 -	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	◎ 良 -	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-49
 検査年月日：令和2年12月10日
 検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
原子炉格納施設	1. 原子炉格納 容器	確認した基本設計方針： 重大事故等時に使用する格納容器循環冷 暖房系統の隔離弁については、設計基準 事故時の隔離機能の確保を考慮し自動隔 離弁とし、重大事故等時に容易に弁の開 操作が可能な設計とする。 確認対象：格納容器循環冷暖房系統の隔離弁	M3-3-0204	/	保安活動が基本設計方 針に従って行われ、設 備及び機器が基本設計 方針に従い製作され、 据付けられ、所定の性 能を有しており、技術 基準に適合するもので あること。	良

0

	<p>2. 圧力低減設備その他の安全設備</p>	<p>確認した基本設計方針： 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置は中央制御室にて動作状況を温度上昇により確認できる設計とする。 なお、静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置は、炉心損傷時の静的触媒式水素再結合装置又は原子炉格納容器水素燃焼装置の動作時に想定される範囲の温度を計測（検出器種類 熱電対、計測範囲 0～800℃）できる設計とする。</p>	<p>M3-1-0801 M3-3-0801 (その1) M3-3-0801 (その2)</p>	<p>静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置</p>		<p>良</p>
	<p>確認対象： 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置</p>					

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-49

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p style="text-align: center;">令和3年 6月11日</p>	<p style="text-align: center;">良</p>	<p style="text-align: center;">岩谷 徹 須貝 実 平沢 淳</p>	<p style="text-align: center;">発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>燃料装荷後に実施された適合性確認検査に係るものに限る。 ※：令和3年6月11日のみ検査を実施。 その他特記事項なし。</p>

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-49

検査年月日：令和3年 6月 10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-49

検査年月日：令和3年 6月 10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	良 -	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	良 -	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-49

検査年月日：令和3年6月19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
原子炉格納施設	1. 原子炉格納 容器	<p>確認した基本設計方針： 連通管を含むスプレノズルから原子炉下部キャビティへの流入経路は、原子炉格納容器内に様々な経路を設けることで多重性を持った設計とする。原子炉下部キャビティは、連通管より下に貫通部のないコングリート構造とすることで溶融炉心の冷却のために蓄水機能を持つ設計とする。</p> <p>確認対象：連通管</p>	M3-4-0162		保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良

原子炉格納施設	<p>2. 圧力低減設備その他の安全設備</p>	<p>確認した基本設計方針： 代替格納容器スプレイとして、燃料取替用水タンク又は復水タンクを水源とする恒設代替低圧注水ポンプは、格納容器スプレイ系を介して、原子炉格納容器内上部にあるスプレリングのスプレノズルより注水し、代替格納容器スプレイ水が原子炉格納容器とフロア最外周部間の隙間等を通じ、原子炉格納容器最下階フロアまで流下し、さらに連通管を経由して原子炉下部キャビティへ流入することで、原子炉下部キャビティ注水ポンプとあわせて溶融炉心が落下するまでに原子炉下部キャビティに長期的に十分な水量を蓄水できる設計とする。</p> <p>確認対象： 連通管、格納容器スプレノズルから原子炉下部キャビティへの流入経路</p>	<p>M3-4-0162</p>	<p>連通管、スプレノズルから原子炉下部キャビティへの流入経路</p>	<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>
---------	--------------------------	---	------------------	-------------------------------------	--

良

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備

要領書番号 : 原規規収第 1712152 号 1-50

令和 2 年 12 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 基本設計方針に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日)
関原発第427号(平成30年3月16日)
関原発第62号(平成30年4月20日)
関原発第158号(平成30年6月25日)
関原発第201号(平成30年7月4日)
関原発第414号(平成30年12月5日)
関原発第517号(平成31年2月6日)
関原発第61号(令和元年5月16日)
関原発第121号(令和元年6月28日)
関原発第167号(令和元年7月25日)
以降、次頁参照
- 4 検査期日 自 令和元年8月7日
至 令和2年12月22日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設
その他発電用原子炉の附属施設
火災防護設備
基本設計方針
- 7 検査結果 検査結果一覧表のとおり

3 検査申請

使用前検査申請番号

関原発第216号(2019年9月2日)

関原発第640号(2020年 3月24日)

関原発第650号(2020年 3月30日)

関原発第 30号(2020年 4月 7日)

関原発第239号(2020年 8月21日)

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和元年 8 月 7 日	令和元年 8 月 7 日
		<p style="font-size: 2em; margin: 0;">高須 洋司</p> <div style="background-color: black; width: 50px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">発電用原子炉 主任技術者</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 30px; margin: 0;"></div>
		<p style="font-size: 2em; margin: 0;">水戸 侑哉</p> <div style="background-color: black; width: 50px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">電気主任技術者</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 30px; margin: 0;"></div>

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和元年 11月 28日	令和元年 11月 28日
		高須 洋司 [Redacted]	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted]
		平川 圭司 [Redacted]	電気主任技術者 [Redacted]

8. 特記事項

存✓

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和2年9月16日	令和2年9月16日
		上田 洋 [Redacted]	発電用原子炉主任技術者 [Redacted]
		関谷 恭二 [Redacted]	電気主任技術者 [Redacted]

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和2年12月8,9日	令和2年12月8,9日
		<p style="font-size: 2em;">工田 洋</p> <p style="font-size: 2em;">山形 英男</p>	<p style="font-size: 1.2em;">発電用原子炉 主任技術者</p> <div style="background-color: black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p style="font-size: 1.2em;">ボイラー・タービン主任技術者</p> <div style="background-color: black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p style="font-size: 1.2em;">電気主任技術者</p> <div style="background-color: black; height: 20px; width: 100%;"></div>

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和2年12月 11日	令和2年12月 11日
		山形英男	発電所原子炉主任技術者 <div style="background-color: black; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 5px;"></div> ボイラー・タービン主任技術者 <div style="background-color: black; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 5px;"></div> 電気主任技術者 <div style="background-color: black; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 5px;"></div>




8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和2年12月 22日	令和2年12月 22日
		上田 洋	発電用原子炉 主任技術者  ボイラ-タービン主任技術者  電気主任技術者 

8. 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 11月28日	良	
		令和2年 9月16日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 11月28日	良	
		令和2年 9月16日	良	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 8月7日	良	
		令和元年 11月28日	良	
		令和2年 9月16日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和2年 12月8,9日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和2年 12月11日	良	
		令和2年 12月22日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	令和2年 12月8,9日	良	
		令和2年 12月11日	良	
		令和2年 12月22日	良	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和2年 12月8,9日	良	
		令和2年 12月11日	良	
		令和2年 12月22日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	令和元年 8月7日	良	
	令和元年 11月28日	良	
	令和2年 9月16日	良	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表(様式-8)が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	令和元年 8月7日	良	
	令和元年 11月28日	良	
	令和2年 9月16日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	令和2年 12月8,9日	良	
	令和2年 12月11日	良	
	令和2年 12月22日	良	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表(様式-8)が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	令和2年 12月8,9日	良	
	令和2年 12月11日	良	
	令和2年 12月22日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
確認結果一覧表

検査年月日：令和元年 8 月 7 日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針 ^{※1}	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
その他発電用原子炉の附属施設	火災防護設備 1 火災防護設備の 基本設計方針	1. 火災防護設備の基本設計方針 (1) 火災発生防止 b. <u>不燃性材料又は難燃性材料の使用</u> 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処 施設は、 <u>不燃性材料又は難燃性材料を使用する</u> <u>設計とし、不燃性材料又は難燃性材料が使用で</u> <u>きない場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同</u> <u>等以上の性能を有するもの（以下「代替材料</u> <u>という。）を使用する設計、若しくは、当該構</u> <u>築物、系統及び機器の機能を確保するために必</u> <u>要な代替材料の使用が技術上困難な場合は、当</u> <u>該構築物、系統及び機器における火災に起因し</u> <u>て他の火災防護上重要な機器等及び重大事故</u> <u>等対処施設において火災が発生することを防</u> <u>止するための措置を講じる設計とする。</u>	M3-3-1004(その1) M3-3-1004(その2)	C, D内部スプレンプ室、 補助建屋サンプ及び通路工 リア	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等 対処施設に使用するケーブルは、自己消火 性を確認するUL1581 (Fourth Edition) 1080、VW-1垂直燃焼試験並びに延焼性を確 認するIEEE Std 383-1974垂直トレイ燃焼 試験又はIEEE Std 1202-1991垂直トレイ 燃焼試験によって、自己消火性及び延焼性 を確認した難燃ケーブルを使用する設計 とするが、実証試験により延焼性などが確 認できない核計装用ケーブル、放射線監視 設備用ケーブル及び通信連絡設備の専用 ケーブルは、難燃ケーブルと同等以上の性 能を有する設計とするか、代替材料の使用 が技術上困難な場合は、当該ケーブルの火 災に起因して他の火災防護上重要な機器 等及び重大事故等対処施設において火災 が発生することを防止するための措置を 講じる設計とする。</p> <p>また、上記ケーブル以外に実証試験により 自己消火性は確認できないが延焼性が確認 できない非難燃ケーブルについては、以下 に示すように、(a) 難燃ケーブルを使用す る設計、並びに難燃ケーブルと同等以上の 難燃性能を確保するため、(b) 非難燃ケー ブル及びケーブルトレイを防火シート、結 束ベルト及びケーブル押さえ器具で覆い複 合体を形成する設計、又は (c) 電線管に 収納する設計とする。</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>(b) 複合体を形成する設計 複合体を構成する防火シートには、複合体の難燃性、遮炎性、耐久性及び被覆性を確認する実証試験で、またケープル及びケーブルのレイに悪影響を及ぼさないため、非腐食性の実証試験でケープル及びケーブルレイに与える化学的影響の問題がないことを確認したシートを使用する設計とする。上記性能を有する防火シートを用いて外部の火災を想定した場合に必要ない内部の発火を想定した場合に必要ない以上の難燃性能を確保する設計とする。</p> <p>ハ. 複合体の仕様、構造及び寸法 以上の設計方針により設計した複合体を構成する防火シート、結束ベルト及びシート押さえ器具の仕様、並びに複合体の構造及び寸法を以下に示す。</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針 ^{※1}	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>確認した基本設計方針^{※1}</p> <p>(1) 防火シートの仕様以下の i. ~ vi. に示す試験で性能を確認した防火シートと同一仕様であり、同試験を満足する性能を有する防火シートを使用する。</p> <p>i. 不燃性 発熱性試験 ii. 遮炎性 (i) 遮炎・準遮炎性能試験、 (ii) 過電流通電試験 iii. 耐久性 (i) 熱・放射線劣化 熱劣化試験、放射線照射試験 (ii) 耐寒性 耐寒性試験 (iii) 耐水性 耐水性試験 (iv) 耐薬品性 耐薬品性試験</p> <p>iv. 外力 (地震) に対する被覆性 加振試験 v. 非腐食性 pH 試験 vi. 耐延焼性 (i) 複合体外部の火災を想定した試験、 (ii) 複合体内部の発火を想定した試験、 (iii) 複合体の頑健性 (隙間模擬試験) の確認</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>確認した基本設計方針※1</p> <p>(ロ) 結束ベルトの仕様 以下の i. 及び ii. に示す試験で性能を確認した結束ベルトと同一仕様であり、同試験を満足する性能を有する結束ベルトを使用する。</p> <p>i. 耐久性 (i) 熱・放射線劣化 熱劣化試験、放射線照射試験 (ii) 耐寒性 耐寒性試験 (iii) 耐水性 耐水性試験 (iv) 耐薬品性 耐薬品性試験</p> <p>ii. 外力 (地震) に対する被覆性 加振試験</p> <p>(ハ) シート押さえ器具の仕様 以下の i. 及び ii. に示す試験で性能を確認した同器具と同一仕様であるシート押さえ器具を使用する。</p> <p>i. 外力 (地震) に対する被覆性 加振試験 ii. 耐燃性 複合体内部の発火を想定した試験</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>(二) 複合体の構造及び寸法 複合体の構造及び寸法は、防火シート、結束ベルト及びシート押さえ器具の性能を(イ)～(ハ)に示す試験で確認する結果を基に、以下のi.～viii.のとおり設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 防火シート間重ね代 ii. 防火シートとケーブル間の隙間 iii. 結束ベルト間隔 iv. シート押さえ器具設置対象 v. シート押さえ器具の押さえ付け時寸法 vi. シート押さえ器具間隔 vii. 防火シートの巻き付け回数 viii. シート押さえ器具設置数 <p>確認対象： 防火シートの仕様 結束ベルトの仕様 シート押さえ器具の仕様 複合体の構造及び寸法</p>			

※1：下線部を除く部分を確認した。

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
確認結果一覧表

検査年月日：令和元年11月28日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
その他発電用原子炉の附属施設	火災防護設備 1 火災防護設備の 基本設計方針	1. 火災防護設備の基本設計方針 (1) 火災発生防止 b. 不燃性材料又は難燃性材料の使用 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処 施設は、 <u>不燃性材料又は難燃性材料を使用する</u> <u>設計とし、不燃性材料又は難燃性材料が使用で</u> <u>きない場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同</u> <u>等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」</u> <u>という。）を使用する設計、若しくは、当該構</u> <u>築物、系統及び機器の機能を確保するために必</u> <u>要な代替材料の使用が技術上困難な場合は、当</u> <u>該構築物、系統及び機器における火災に起因し</u> <u>て他の火災防護上重要な機器等及び重大事故</u> <u>等対処施設において火災が発生することを防</u> <u>止するための措置を講じる設計とする。</u>	M3-3-1004 (その1) M3-3-1004 (その2)	余熱除去及び内部スプレ 配管室前通路エリア	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等 対処施設に使用するケーブルは、自己消火 性を確認するUL1581 (Fourth Edition) 1080. VW-1垂直燃焼試験並びに延焼性を確 認するIEEE Std 383-1974垂直トレイ燃焼 試験又はIEEE Std 1202-1991垂直トレイ 燃焼試験によって、自己消火性及び延焼性 を確認した難燃ケーブルを使用する設計 とするが、実証試験により延焼性などが確 認できない核計装用ケーブル、放射線監視 設備用ケーブル及び通信連絡設備の専用 ケーブルは、難燃ケーブルと同等以上の性 能を有する設計とするか、代替材料の使用 が技術上困難な場合は、当該ケーブルの火 災に起因して他の火災防護上重要な機器 等及び重大事故等対処施設において火災 が発生することを防止するための措置を 講じる設計とする。</p> <p>また、上記ケーブル以外に実証試験により 自己消火性は確認できないが延焼性が確認 できない非難燃ケーブルについては、以下 に示すように、(a) 難燃ケーブルを使用す る設計、並びに難燃ケーブルと同等以上の 難燃性能を確保するため、(b) 非難燃ケー ブル及びケーブルトレイを防火シート、結 束ベルト及び押しさえ器具で覆い複 合体を形成する設計、又は (c) 電線管に 収納する設計とする。</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>(b) 複合体を形成する設計 複合体を構成する防火シートには、複合体の難燃性を確保し形状を維持するため、不燃性、遮炎性、耐久性及び被覆性を確認する実証試験でそれらの性能を有することを確認し、またケープル及びケーブルレイに悪影響を及ぼさないため、非腐食性の実証試験でケープル及びケーブルレイの化学的影響に問題がないことを確認したシートを使用する設計とする。上記性能を有する防火シートを用いて形成した複合体は、イ.に示す複合体外部の火災を想定した場合に必要な設計を行うことで、ロ.に示す複合体内部の発火を想定した場合に必要な設計を加えること、ケ.に示す複合体と同等以上の難燃性を確保する設計とする。</p> <p>ハ. 複合体の仕様、構造及び寸法以上の設計方針により複合体を構成する防火シート、結束ベルト及びシート押さえ器具の仕様、並びに複合体の構造及び寸法を以下に示す。</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>(イ) 防火シートの仕様以下のi.～vi.に示す試験で性能を確認した防火シートと同一仕様であり、同試験を満足する性能を有する防火シートを使用する。</p> <p>i. 不燃性 発熱性試験 ii. 遮炎性 (i) 遮炎・準遮炎性能試験、 (ii) 過電流通電試験 iii. 耐久性 (i) 熱・放射線劣化 熱劣化試験、放射線照射試験 (ii) 耐寒性 耐寒性試験 (iii) 耐水性 耐水性試験 (iv) 耐薬品性 耐薬品性試験</p> <p>iv. 外力 (地震) に対する被覆性 加振試験 v. 非腐食性 pH 試験 vi. 耐燃焼性 (i) 複合体外部の火災を想定した試験、 (ii) 複合体内部の発火を想定した試験、 (iii) 複合体の頑健性 (隙間模擬試験) の確認</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>(ロ) 結束ベルトの仕様 以下の i. 及び ii. に示す試験で性能を確認した結束ベルトと同一仕様であり、同試験を満足する性能を有する結束ベルトを使用する。</p> <p>i. 耐久性 (i) 熱・放射線劣化 熱劣化試験、放射線照射試験 (ii) 耐寒性試験 (iii) 耐水性試験 (iv) 耐薬品性試験</p> <p>ii. 外力 (地震) に対する被覆性 加振試験</p> <p>(ハ) シート押さえ装置の仕様 以下の i. 及び ii. に示す試験で性能を確認したシート押さえ装置と同一仕様であり、同試験を満足する性能を有するシート押さえ装置を使用する。</p> <p>i. 外力 (地震) に対する被覆性 加振試験 ii. 耐延焼性 複合体内部の発火を想定した試験</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>確認した基本設計方針※1</p> <p>(二) 複合体の構造及び寸法 複合体の構造及び寸法は、防火シート、結束ベルト及びシート押さえ器具の性能を (イ)～(ハ)に示す試験で確認する結果 を基に、以下のi.～viii.のとおり設定す る。</p> <p>i. 防火シート間重ね代 ii. 防火シートとケブル間隙の間隙 iii. 結束ベルト間隙 iv. シート押さえ器具設置対象 v. シート押さえ器具の押さえ付け時寸 法</p> <p>vi. シート押さえ器具間隙 vii. 防火シートの巻き付け回数 viii. シート押さえ器具設置数</p> <p>確認対象： 防火シートの仕様 結束ベルトの仕様 シート押さえ器具の仕様 複合体の構造及び寸法</p>			

※1：下線部を除く部分を確認した。

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
確認結果一覧表

検査年月日：令和2年9月16日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
その他発電用原子炉の附属施設	火災防護設備 1 火災防護設備の 基本設計方針	1. 火災防護設備の基本設計方針 (1) 火災発生防止 b. 不燃性材料又は難燃性材料の使用 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処 施設は、 <u>不燃性材料又は難燃性材料を使用する</u> <u>設計とし、不燃性材料又は難燃性材料が使用で</u> <u>きない場合は、不燃性材料又は難燃性材料と同</u> <u>等以上の性能を有するもの（以下「代替材料</u> <u>という。）を使用する設計、若しくは、当該構</u> <u>築物、系統及び機器の機能を確保するために必</u> <u>要な代替材料の使用が技術上困難な場合は、当</u> <u>該構築物、系統及び機器における火災に起因し</u> <u>て他の火災防護上重要な機器等及び重大事故</u> <u>等対処施設において火災が発生することを防</u> <u>止するための措置を講じる設計とする。</u>	M3-3-1004(その1) M3-3-1004(その2)	Cメタクラ及びCパワーセ ンタ室 (Aトレン)	良

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>火災防護上重要な機器等及び重大事故等 対処施設に使用するケーブルは、自己消火 性を確認するUL1581 (Fourth Edition) 1080、VW-1垂直燃焼試験並びに延焼性を確 認するIEEE Std 388-1974垂直トレイ燃焼 試験又はIEEE Std 1202-1991垂直トレイ 燃焼試験によって、自己消火性及び延焼性 を確認した難燃ケーブルを使用する設計 とするが、実証試験により延焼性などが確 認できない核計装用ケーブル、放射線監視 設備用ケーブル及び通信連絡設備の専用 ケーブルは、難燃ケーブルと同等以上の性 能を有する設計とするか、代替材料の使用 が技術上困難な場合は、当該ケーブルの火 災に起因して他の火災防護上重要な機器 等及び重大事故等対処施設において火災 が発生することを防止するための措置を 講じる設計とする。</p> <p>また、上記ケーブル以外に実証試験により 自己消火性は確認できるが延焼性が確認 できない非難燃ケーブルについては、以下 に示すように、(a) 難燃ケーブルを使用す る設計、並びに難燃ケーブルと同等以上の 難燃性能を確保するため、(b) 非難燃ケー ブル及びケーブルトレイを防火シート、結 束ベルト及びシート押さえ器具で覆い復 合体を形成する設計、又は (c) 電線管に 収納する設計とする。</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>(b) 複合体を形成する設計 複合体を構成する防火シートには、複合体の難燃性、遮炎性、耐久性を維持するため、不燃性、遮炎性、耐久性を有する複合体とを、またケバール及び非腐食性樹脂、またケバール及び非腐食性樹脂の複合体を使用する設計とする。ケバール及び非腐食性樹脂の複合体は、ケバール及び非腐食性樹脂の複合体を使用する設計とする。ケバール及び非腐食性樹脂の複合体は、ケバール及び非腐食性樹脂の複合体を使用する設計とする。ケバール及び非腐食性樹脂の複合体は、ケバール及び非腐食性樹脂の複合体を使用する設計とする。</p> <p>ハ、複合体の仕様、構造及び寸法 以上の設計方針により複合体を構成する防火シート、結束ベルト及びシート押さえ器具の仕様、並びに複合体の構造及び寸法を以下に示す。</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>確認した基本設計方針※1</p> <p>(イ) 防火シートの仕様 以下の i. ~ vi. に示す試験で性能を確認した防火シートと同一仕様であり、同試験を満足する性能を有する防火シートを使用する。</p> <p>i. 不燃性 発熱性試験 ii. 遮炎性 (i) 遮炎・準遮炎性能試験、 (ii) 過電流通電試験 iii. 耐久性 (i) 熱・放射線劣化 熱劣化試験、放射線照射試験 (ii) 耐寒性 耐寒性試験 (iii) 耐水性 耐水性試験 (iv) 耐薬品性 耐薬品性試験</p> <p>iv. 外力 (地震) に対する被覆性 加振試験</p> <p>v. 非腐食性 pH 試験</p> <p>vi. 耐延焼性 (i) 複合体外部の火災を想定した試験、 (ii) 複合体内部の発火を想定した試験、 (iii) 複合体の頑健性 (隙間模擬試験) の確認</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>(ロ) 結束ベルトの仕様 以下のi.及びii.に示す試験で性能を確認した結束ベルトと同一仕様であり、同試験を満足する性能を有する結束ベルトを使用する。</p> <p>i. 耐久性 (i) 熱・放射線劣化 熱劣化試験、放射線照射試験 (ii) 耐寒性試験 (iii) 耐水性試験 (iv) 耐薬品性試験</p> <p>ii. 外力 (地震) に対する被覆性 加振試験</p> <p>(ハ) シート押さえ装置の仕様 以下のi.及びii.に示す試験で性能を確認した同装置と同一仕様であり、同試験を満足する性能を有するシート押さえ装置を使用する。</p> <p>i. 耐外力 (地震) に対する被覆性 加振試験 ii. 耐延焼性 複合体内部の発火を想定した試験</p>			

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針 ^{※1}	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
		<p>(二) 複合体の構造及び寸法 複合体の構造及び寸法は、防火シート、結束ベルト及びシート押さえ器具の性能を (イ)～(ハ)に示す試験で確認する結果 を基に、以下のi.～viii.のとおり設定す る。</p> <p>i. 防火シート間重ね代 ii. 防火シートとケール間の隙間 iii. 結束ベルト間隔 iv. シート押さえ器具設置対象 v. シート押さえ器具の押さえ付け時寸 法 vi. シート押さえ器具間隔 vii. 防火シートの巻き付け回数 viii. シート押さえ器具設置数</p> <p>確認対象： 防火シートの仕様 結束ベルトの仕様 シート押さえ器具の仕様 複合体の構造及び寸法</p>			

※1：下線部を除く部分を確認した。

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
確認結果一覧表

検査年月日：令和2年12月8,9日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
その他発電用原子炉の附属施設	火災防護設備 1 火災防護設備の 基本設計方針	確認した基本設計方針： a. 火災感知設備 火災感知設備のうち火災感知器（「3号機設備」、「1・2・3号機共用、1号機に設置」（以下同じ。））は、火災区域又は火災区画における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気の環境条件、予想される火災の性質（急激な温度変化、煙の濃度の上昇、赤外線量の上昇）を考慮し、火災を早期に感知できるよう、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器、アナログ式ではないが、炎が発する赤外線又は紫外線を検知するため、煙や熱が感知器に到達する時間遅れがなく、火災の早期感知に優位性がある炎感知器から異なる種	M3-3-1314	火災検知器 (A/B 1.0m 階段踊場)	良

	<p>良</p> <p>局所ハロン消火設備 (恒代替低圧注水ポンプ、 代替所内電気設備) ケープルトレイ消火設備 (ケープル処理室)</p>
<p>類の火災感知器を組みあわせて設置する設計を基本とする。 確認対象：火災検知器</p>	<p>M3-3-1045 (その2) M3-3-1045 (その3)</p>
<p>確認した基本設計方針： b. 消火設備</p>	<p>消火設備として、火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難となるところは、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備であるスプリンクラー(「3号機設備」、「1・2・3号機共用、1号機に設置」(以下同じ。))、全域ハロン消火設備(「3号機設備」、「1・2・3号機共用、1号機に設置」(以下同じ。))、局所ハロン消火設備、ケープルトレイ消火設備、二酸化炭素消火設備、エアロゾル消火設備、水噴霧消火設備(「1・2・3号機共用、1号機に設置」(以下同じ。))により消火を行う設計とし、火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難とならないところは、自動消火設備である海水ポンプの二酸化炭素消火設備並びに可搬型の消火器又は消火栓により消火を行う設計とする。</p>

	<p>確認対象： 局所ハロン消火設備、ケーブルトレイ消火設備</p>			
	<p>確認した基本設計方針： 消火栓、水噴霧消火設備及びスプリンクラー（原子炉補助建屋を除く。）への消火用水供給系の水源である淡水タンク（「1・2・3号機共用、1号機に設置」（以下同じ。）、原子炉補助建屋の消火栓（地震等により淡水タンクが使用できない場合）及びスプリンクラーに使用する消火水タンクは、スプリンクラーの最大放水量で、消火を2時間継続した場合の水量（130m³）を確保する設計とする。</p>	<p>M3-3-0601（その2）</p>	<p>消火水タンク</p>	<p>良</p>
	<p>確認対象： 消火水タンク</p> <p>確認した基本設計方針： ・（b）中央制御盤の火災の影響軽減のための対策 系統分離として、中央制御盤の画面表示装置（VDU）間、光交換ユニット間、電源装置間、盤内配線間、盤内配線ダクト間は、近接する他の構成部品に火災の影響がないことを確認した実証試験の結</p>	<p>M3-3-1814</p>	<p>安全系VDU盤</p>	<p>良</p>

				<p>果に基づく分離対策を行う設計とし、中央制御盤のケーブルは、当該ケーブルに火災が発生しても延焼せず、また、周囲へ火災の影響を与えないことを実証試験によって確認したテフロン電線及び難燃ケーブルを使用する設計とする。</p> <p>また、2 個隣接する安全系 VDU 盤それぞれの区画を成功パスとし、安全系 VDU 盤の筐体間を 1 時間の耐火能力を有する隔壁により分離する設計とする。</p> <p>確認対象： 安全系 VDU 盤</p>
--	--	--	--	--

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
確認結果一覧表

検査年月日：令和2年12月11日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
その他発電用原子炉の附属施設	火災防護設備 1 火災防護設備の 基本設計方針	確認した基本設計方針： a. 火災感知設備 火災感知設備のうち火災感知器（「3号機設備」、「1・2・3号機共用、1号機に設置」（以下同じ。））は、火災区域又は火災区画における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気の環境条件、予想される火災の性質（急激な温度変化、煙の濃度の上昇、赤外線量の上昇）を考慮し、火災を早期に感知できよう、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器、アナログ式ではないが、炎が発する赤外線又は紫外線を検知するため、煙や熱が感知器に到達する時間遅れがなく、火災の早期感知に優位性がある炎感知器から異なる種	M3-3-1023 M3-3-1023（再検査）		良

		<p>類の火災感知器を組みあわせて設置する設計を基本とする。 確認対象：火災検知器</p>			
--	--	--	--	--	--

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
確認結果一覧表

検査年月日：令和2年12月22日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針※1	記録確認した適合性確認 検査要領書及び成績書等	現場確認した設備等	確認結果
その他発電用原子炉の附属施設	火災防護設備 1 火災防護設備の 基本設計方針	確認した基本設計方針： a. 火災の影響軽減対策 (a) 火災防護対象機器等の系統分離対策 ロ. 1時間耐火隔壁、火災感知設備及び 自動消火設備 火災防護対象機器等は、想定され る火災に対して1時間の耐火能力 を有する隔壁の設置によって、互い に相連する系列間の系統分離を行 う設計とする。 確認対象：ケーブルトレイへ入線している ケーブルに対する1時間耐火能力を有する 隔壁の設置状況	M3-3-0917 (その 2) (再検査)	火災区画 I / B-3-1 換気空調設備エリアにおけ るケーブルトレイへ入線し ているケーブルに対する1 時間耐火能力を有する隔壁	良

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-51

令和 2 年 12 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-51

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 12 月 14 日
至 令和 2 年 12 月 15 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年 8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号: 1-51

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 12月15日	良	福富 晋一	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] 本行・タービン主任技術者 [Redacted] 電装主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和 2 年 12 月 14 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和2年12月14日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	良 -	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	良 -	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-51

検査年月日：令和2年12月14日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設	浸水防護施設 1. 津波による 損傷の防止	確認した基本設計方針： (c) 津波監視設備 津波監視設備は、津波の襲来状況を監視 できる設計とする。津波監視カメラは波 力、漂流物の影響を受けにくい位置、潮位計 は波力、漂流物の影響を受けにくい位置 に設置し、津波監視機能が十分に保持で きる設計とする。また、漂流物の影響を受 けた場合であっても他の津波監視設備で 機能補完を行う設計とする。さらに、基準 地震動に対して機能を喪失しない設計と する。設計に当たっては、自然条件(積雪、	M3-1-0807 M3-3-0807 M3-3-0808 M3-3-0909 (その3)		保安活動が基本設計方 針に従って行われ、設 備及び機器が基本設計 方針に従い製作され、 据付けされ、所定の性 能を有しており、技術 基準に適合するもので あること。	良

	<p>風荷重等)との組合せを適切に考慮する。津波監視設備のうち津波監視カメラは、非常用所内電源系から給電するとともに映像信号を中央制御室へ伝送し、中央制御室にて周囲の状況を昼夜にわたり監視できるよう、暗視機能を有する設計とする。</p> <p>津波監視設備のうち潮位計は、経路からの津波に対し海水ポンプ室の上昇側及び下降側の水位変動のうち1台はT.P. []からT.P. []を、もう1台はT.P. []からT.P. []を測定可能とし、非接触式の潮位検出器により計測できる設計とする。また、潮位計は非常用所内電源系から給電し、中央制御室から監視可能な設計とする。</p>		良
<p>確認対象：津波監視カメラ、潮位計</p> <p>確認した基本設計方針： (b) 浸水防止設備 浸水防止設備は、浸水想定範囲等における浸水時及び冠水後の波圧等に対する耐</p>	M3-3-1312		良

		<p>性を評価し、津波の流入による浸水及び漏水を防止する設計とする。</p> <p>また、津波防護対象設備を内包する建物及び区画に浸水時及び冠水後に津波が浸水することを防止するため、当該区画への流入経路となる開口部に中間建屋水密扉及び制御建屋水密扉の設置並びに建屋貫通部止水処置を実施するとともに、想定される浸水高さに余裕を考慮した高さまでの施工により止水性を維持する設計とする。</p>			
<p>浸水防護施設 2. 発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止</p>	<p>確認対象：水密扉の止水性</p> <p>確認した基本設計方針：</p>	<p>漏えい蒸気影響により、防護すべき設備が要求される機能を損なうおそれがある場合は、漏えい蒸気影響を緩和するため対策を実施する。具体的には、蒸気漏えいを自動検知し、隔離（直ちに環境温度が上昇し、健全性が確認されている条件を越えるおそれがある場合は自動隔離、それ以外は中央制御室からの遠隔手動隔</p>	<p>M3-1-0802 M3-3-0802 (その1) M3-3-0802 (その2)</p>	<p>蒸気漏えい検知システム（漏えい検知監視制御盤）</p>	<p>良</p>

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-52

令和 2 年 12 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-52

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年12月16日
至 令和2年12月17日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年 8月21日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-52

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年12月17日	良	福富 晋一	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] 水行-9-7主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和 2年 12月 16日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和 2 年 12 月 16 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	良・一	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-52

検査年月日：令和2年12月16日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設	非常用電源設備 1. 非常用電源 設備の電源系 統 2. 交流電源設 備 3. 直流電源設 備及び計装 用電源設備 4. 燃料設備	確認した基本設計方針： 1. 1 非常用電源系統 重要安全施設への電力供給に係る電気盤 及び当該電気盤に影響を与えるおそれの ある電気盤のうち非常用ディーゼル発電 機に接続される電気盤以外の電気盤（安 全施設（重要安全施設を除く。）への電力 供給に係るものに限る。）について、遮断 器の遮断時間の適切な設定等により、高 エネルギーのアーカ放電によるこれらの 電気盤の損壊の拡大を防止することがで きる設計とする。	M3-3-0909 (その2)		保安活動が基本設計方 針に従って行われ、設 備及び機器が基本設計 方針に従い製作され、 据付けされ、所定の性 能を有しており、技術 基準に適合するもので あること。	良

	<p>確認対象:メタルクラッド開閉装置(非常用)</p> <p>確認した基本設計方針:</p> <p>送電線において3相のうち1相の電路の開放が生じた場合、275kV送電線(1・2・3号機共用、1号機に設置(以下同じ。))は多重化した設計とし、1回線での電路の開放時は、安全施設への電力の供給が不安定にならない設計とする。また、電力送電時、保護装置(1・2・3号機共用、1号機に設置(以下同じ。))により3相の電流不平衡監視にて常時自動検知できる設計とする。</p> <p>確認対象 保護装置による1相の電路の開放の自動検知</p>	<p>M3-3-0907 (その1) M3-3-0907 (その2)</p>	良	良
<p>常用電源設備 1. 保安電源設備</p>	<p>確認した基本設計方針:</p> <p>ディーゼル消火ポンプ燃料サービスタンは、ディーゼル消火ポンプの機能を達成するために必要となる容量を有すること、共用により発電用原子炉施設の安</p>	<p>M3-3-0425</p>		
<p>補機駆動用燃料設備 1. 補機駆動用燃料設備</p>				

		<p>酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計</p>	<p>全性を損なわない設計とする。</p> <p>確認対象:ディーゼル消火ポンプ燃料サービスタック</p> <p>確認した基本設計方針:</p> <p>1 次冷却材喪失事故等あるいは重大事故等が発生した場合において、緊急時対策所内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が事故対策のための活動に支障がない範囲にあることを正確に把握できるように、可搬型の酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計を、使用する1個と故障時及び保守点検のバックアップ用として2個を含めて合計3個保管する。</p> <p>確認対象:酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計</p>	<p>緊急時対策所</p> <p>1. 緊急時対策所</p> <p>M3-3-1113 M3-3-1104</p>	<p>良</p>

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-53

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-53

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月10日
至 令和2年9月10日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年3月16日) 関原発第62号(平成30年4月20日) 関原発第158号(平成30年6月25日) 関原発第201号(平成30年7月4日) 関原発第414号(平成30年12月5日) 関原発第517号(平成31年2月6日) 関原発第61号(2019年5月16日) 関原発第121号(2019年6月28日) 関原発第167号(2019年7月25日) 関原発第216号(2019年9月2日) 関原発第640号(2020年3月24日) 関原発第650号(2020年3月30日) 関原発第30号(2020年4月7日) 関原発第239号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-53

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月10日	良	須貝 実 	波行一、タービソ 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和2年 9月 10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

基本設計方針に係る検査

成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和2年 9月 10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	◎良・－	
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表が作成され、申請者の適合性確認検査において漏れなく確認されていること。	◎良・－	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

成績書管理番号：1-53

検査年月日：令和2年9月10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した設備等	判定基準	確認 結果
その他発電用原子炉の附属施設	補助ボイラー 設備の相互接続	<p>確認した基本設計方針：</p> <p>補助蒸気連絡ライン（低圧）は、1号機及び2号機の共用配管と3号機配管を相互接続するものの、通常は連絡弁を閉止することで物理的に分離されることから、悪影響を及ぼすことはなく、連絡ライン使用時においても、1号機、2号機及び3号機の各系統の補助蒸気の圧力は同じとし、発電用原子炉施設の安全性を損なうことのない設計とする。</p> <p>確認対象： 補助蒸気連絡ライン（低圧）、連絡弁</p>	<p>M3-2-0602 (その1)</p> <p>M3-2-0602 (その2)</p> <p>M3-2-0602 (その3)</p>	<p>補助蒸気連絡ライン (低圧) 及び連絡弁 (3AS-1000 及び3AS-11 8)</p>	<p>保安活動が基本設計方針に従って行われ、設備及び機器が基本設計方針に従い製作され、据付けられ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。</p>	良

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

施設名 : 発電用原子炉施設（共通項目）
放射性廃棄物の廃棄施設
放射線管理施設
その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備

要領書番号 : 原規規収第 1712152 号 1-54-1

平成 30 年 3 月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 基本設計方針に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日)
関原発第427号(平成30年3月16日)
- 4 検査期日 自 平成30年3月19日
至 平成30年3月20日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設(共通項目)
放射性廃棄物の廃棄施設^{※1}
放射線管理施設^{※1}
その他発電用原子炉の附属施設
火災防護設備
基本設計方針^{※2}

※1: 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する法律規則第16条第5号
の検査(原規規収第1712152号2-39)にて確認

※2: A蒸気発生器保管庫(1・2・3号機共用)に係る範囲

- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	平成30年3月19日	平成30年3月20日
		川下 泰弘	光電用原子炉 主任技術者
		大和田 智	

8 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	平成30年 3月 ¹⁹ / ₂₀ 日	良	
	年 月 日		
	年 月 日		
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表(様式-8)が作成され、申請者の適合性確認検査においてA蒸気発生器保管庫(1・2・3号機共用)に係る範囲について漏れなく確認されていること。	平成30年 3月 ¹⁹ / ₂₀ 日	良	
	年 月 日		
	年 月 日		

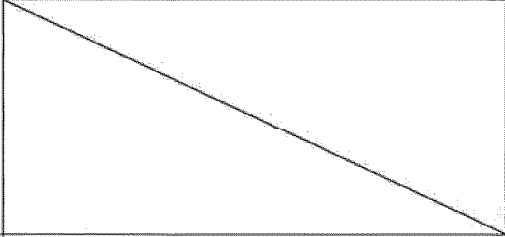
美浜発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

検査年月日：平成30年3月19日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性 確認検査要領書、 成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
発電用原子炉施設 (共通項目) ※1	5. 設備に対する 要求	<p>確認した基本設計方針： クラス1機器、クラス2機器、クラス3機器、 原子炉格納容器、炉心支持構造物、重大事故 等クラス2機器及び重大事故等クラス3機 器は、最高使用圧力、最高使用温度及び機械 的荷重が負荷されている状態において、全体 的な変形を弾性域に抑える設計とする。 確認対象：消火器</p>	M3-3-2004		良
	6. その他	<p>確認した基本設計方針： 発電用原子炉施設には、位置を明確かつ恒久 的に表示することにより容易に識別できる 安全避難通路及び電源が喪失した場合にお いても機能を損なわない避難用照明として 蓄電池を内蔵した非常灯及び誘導灯を設置 し、安全に避難できる設計とする。 確認対象：安全避難通路、非常灯、誘導灯</p>	M3-3-2004	安全避難通路、 非常灯、誘導灯	良

検査年月日：平成30年3月20日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性 確認検査要領書、 成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
その他発電用原子炉 の附属施設※1	1. 火災防護設備 の基本設計方針	確認した基本設計方針： 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対 処施設を設置する建屋の内装材は、平成12 年建設省告示第1400号に定められた不燃材 料、建築基準法に基づき認定を受けた不燃材 料又はこれと同等の性能を有することを試 験により確認した不燃性材料並びに消防火 材に基づく防炎物品又はこれと同等の性能を 有することを試験により確認した材料を使 用する設計とする。 確認対象：内装材	M3-3-2004		良

※1：A蒸気発生器保管庫（1・2・3号機共用）に係る範囲

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

施設名 : 発電用原子炉施設 (共通項目)
放射性廃棄物の廃棄施設
放射線管理施設
その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備

要領書番号 : 原規規収第 1712152 号 1-54-2

令和元年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 基本設計方針に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日)
関原発第427号(平成30年 3月16日)
関原発第 62号(平成30年 4月20日)
関原発第158号(平成30年 6月25日)
関原発第201号(平成30年 7月 4日)
関原発第414号(平成30年12月 5日)
関原発第517号(平成31年 2月 6日)
関原発第 61号(2019年 5月16日)
関原発第121号(2019年 6月28日)
関原発第167号(2019年 7月25日)
関原発第216号(2019年 9月 2日)
- 4 検査期日 自 令和 元年11月12日
至 令和 元年11月25日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設(共通項目)
放射性廃棄物の廃棄施設^{※1}
放射線管理施設^{※1}
その他発電用原子炉の附属施設
火災防護設備
基本設計方針^{※2}
- ※1: 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する法律規則第16条第5号
の検査(原規規収第1712152号2-40)にて確認
- ※2: B蒸気発生器保管庫(1・2・3号機共用)に係る範囲
- 7 検査結果 検査検査結果一覧表のとおり

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査 (共通事項に限る)	良	令和元年 11月 12日	令和元年 11月 12日
		高橋 和宏	発電用原子炉 主任技術者

8 特記事項 検査項目は共通事項に限る。検査前確認事項において、申請者の実施した適合性確認検査の記録の一部が確認できなかったため、継続とする。

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	令和元年 11月 25日	令和元年 11月 25日
		平川 圭司	発電用原子炉主任技術者

8 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 11月25日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	
		令和元年 11月25日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 11月12日	良	
		令和元年 11月25日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	令和元年 11月12日	継続	申請者の実施した適合性確認検査の記録の一部が確認できなかったため、継続とする。
	令和元年 11月25日	良	
	年 月 日		
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表（様式-8）が作成され、申請者の適合性確認検査においてB蒸気発生器保管庫（1・2・3号機共用）に係る範囲について漏れなく確認されていること。	令和元年 11月25日	良	
	年 月 日		
	年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

検査年月日：令和元年11月25日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
発電用原子炉施設 (共通項目) ※1	5. 設備に対する 要求	5. 2 材料及び構造等 5. 2. 1 材料について (1) 機械的強度及び化学的成分 b. クラス2機器、クラス2支持構造物、 クラス3機器、クラス4管、重大事故等 クラス2機器及び重大事故等クラス2支 持構造物は、その使用条件に対して適切な機 荷重その他の使用条件に対して適切な機 械的強度及び化学的成分を有する材料を 使用する。 5. 2. 2 構造及び強度について (1) 延性破断の防止 a. クラス1機器、クラス2機器、クラ ス3機器、原子炉格納容器、炉心支持構 造物、重大事故等クラス2機器及び重大 事故等クラス3機器は、最高使用圧力、 最高使用温度及び機械的荷重が負荷され ている状態において、全体的な変形を弾 性域に抑える設計とする。 確認対象：消火器	M3-3-1401	消火器	良

検査年月日：令和元年 11月 25日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性確認 検査要領書、成績書等	現場確認した 設備等	確認結果
その他発電用原子炉 の附属施設※1	6. その他	<p>6. 3 安全避難通路等 発電用原子炉施設には、位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できると安全避難通路及び電源が喪失した場合においても機能を損なわない避難用照明として蓄電池を内蔵した非常灯及び誘導灯を設置し、安全に避難できる設計とする。</p> <p>確認対象： 安全避難通路、誘導灯</p>	M3-3-1316	安全避難通路、誘導灯	良
	1. 火災防護設備 の基本設計方針	<p>(1) 火災発生防止 a. 火災の発生防止対策 火災の発生防止のため、発電用原子炉施設内の電気系統は、保護継電器及び遮断器によって故障回路を早期に遮断し、過電流による過熱及び焼損を防止する設計とする。</p> <p>確認対象：保護継電器、遮断器</p>	M3-3-1316	保護継電器、遮断器	良

※1：B 蒸気発生器保管庫（1・2・3号機共用）に係る範囲

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

基本設計方針に係る
使用前検査成績書

施設名 : 発電用原子炉施設（共通項目）
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

系統名 : 燃料取扱設備
新燃料又は使用済燃料を取扱う機器
使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用）

要領書番号 : 原規規収第 1712152 号 1-54-3

平成 30 年 11 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 基本設計方針に係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日)
関原発第427号(平成30年3月16日)
関原発第62号(平成30年4月20日)
関原発第158号(平成30年6月25日)
関原発第201号(平成30年7月4日)
- 4 検査期日 自 平成30年//月28日
至 平成30年//月28日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設(共通項目)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
燃料取扱設備
基本設計方針^{※1}

※1: 使用済燃料ピットクレーン(1・2・3号機共用)に係る範囲

- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
基本設計方針に係る検査	良	平成30年11月28日 岸田 国基 原 田 智	平成30年11月28日 飛電用原子炉 主任技術者 [Redacted] [Redacted]

8 特記事項

なし

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 確認結果一覧表

美浜発電所第3号機 使用前検査記録 検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成30年 11月28日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	平成30年 11月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

基本設計方針に係る検査

確認事項	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	平成30年 11月28日	良	
	年 月 日		
	年 月 日		
基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表（様式-8）が作成され、申請者の適合性確認検査において使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用）に係る範囲について漏れなく確認されていること。	平成30年 11月28日	良	
	年 月 日		
	年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

確認結果一覧表

検査年月日：平成30年11月28日

施設名	機器等の名称 (設備区分)	確認した基本設計方針	記録確認した適合性 確認検査要領書、 成績書等	現場確認した設備等	確認結果
発電用原子炉施設 (共通項目) ※1	2. 自然現象	<p>確認した基本設計方針： 耐震重要施設及び常設耐震重要重大事故防止設備又は常設重大事故緩和設備が設置される重大事故等対処施設が、それ以外の発電所内にある施設(資機材等含む。)の波及的影響によって、それぞれその安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわない設計とする。 確認対象：使用済燃料ピットクレーン</p>	M3-1-0104		良
核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設 ※1	2. 燃料貯蔵設備	<p>確認した基本設計方針： 使用済燃料ピットクレーンは、吊荷重40tの昇降装置を有する設計とする。また、動力電源が喪失した場合でも、吊荷を保持できる設計とする。使用済燃料ピットクレーンの昇降装置は、基準地震動を考慮しても、吊荷を落下させない裕度を持った設計とする。 確認対象：使用済燃料ピットクレーン</p>	M3-1-0104 M3-5-0104		良

		<p>確認した基本設計方針： 使用済燃料ピットクレーンは、吊荷重 2t のトロリの取外し、取付けをしても燃料取扱設備としての機能・性能に影響が生じない設計とする。また、基準地震動による地震荷重に対し、クレーン本体の健全性評価及び転倒落下防止評価を行い、使用済燃料ピットへの落下物とならないことを確認する。</p> <p>確認対象：使用済燃料ピットクレーン (横行転倒防止金具、ケーブル)</p>	<p>M3-1-0104</p>	<p>使用済燃料ピットクレーン (横行転倒防止金具、ケーブル)</p>	<p>良</p>
--	--	---	------------------	--	----------

※1：使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用）に係る範囲を確認

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉本体
原子炉冷却系統施設
計測制御系統施設

系統名 : 炉心
一次冷却材の循環設備
ほう酸注入機能を有する設備
炉心支持構造物
熱遮蔽材
原子炉容器
原子炉容器内部構造物

要領書番号 : 原規規収第 1712152 号 2-01

令和2年 6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機

2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査

3 検査申請 使用前検査申請番号

関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第216号(2019年9月2日)
関原発第427号(平成30年3月16日) 関原発第640号(2020年3月24日)
関原発第62号(平成30年4月20日) 関原発第650号(2020年3月30日)
関原発第158号(平成30年6月25日) 関原発第30号(2020年4月7日)
関原発第201号(平成30年7月4日)
関原発第414号(平成30年12月5日)
関原発第517号(平成31年2月6日)
関原発第61号(2019年5月16日)
関原発第121号(2019年6月28日)
関原発第167号(2019年7月25日)

4 検査期日 自 平成30年7月10日
至 令和2年6月25日

5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町

6 検査範囲 美浜発電所第3号機

発電用原子炉施設

原子炉本体

炉心

炉心支持構造物

炉心槽

炉心そう^{※1} 1個

上部炉心支持板

上部炉心支持板^{※1} 1個

上部炉心板

上部炉心板^{※1} 1個

上部炉心支持柱

上部炉心支持柱^{※1} 40個

下部炉心支持板

下部炉心支持板^{※1} 1個

下部炉心板

下部炉心板^{※1} 1個

下部炉心支持柱

下部炉心支持柱^{※1} 22個、46個^{※2}

熱遮蔽材

熱遮蔽材 4個

原子炉容器

原子炉容器内部構造物

制御棒クラスタ案内管 52個

※1：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

※2：中実棒




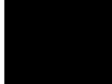





7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり

8 検査結果 検査結果一覧表のとおり




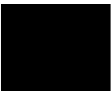


9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
平成30年 7月10日	 上田 洋  水戸 侑哉	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし
平成30年 7月25日	 柳 健 環境技官  河田 拓也	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし
平成30年 9月7日	 山形 英男  平川 圭	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 8月28日、 29日	 吉村直樹  森田 善二	ぶいろー、タービソ  主任技術者	なし
令和2年 6月22日 25日	 原子力検査官 須実  恭二 原子力検査官	ぶいろー、タービソ  主任技術者	なし
年 日 月 日	主任技術者		

検査結果一覧表

系統名： 炉心 一次冷却材の循環設備 ほう酸注入機能を有する設備、熱遮蔽材、原子炉容器

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	備考
検査日	平成30年 7月10日	平成30年 7月10日	平成30年 7月10日	年 月 日	下部炉心板 下部炉心支持柱
結果	良	良	良	/	
検査日	平成30年 7月25日	平成30年 7月25日	平成30年 7月25日	年 月 日	上部炉心支持板 上部炉心板
結果	良	良	良	/	
検査日	平成30年 9月7日	平成30年 9月7日	平成30年 9月7日	年 月 日	炉心冷却 下部炉心支持板
結果	良	良	良	/	

検査結果一覧表

系統名： 炉心 一次冷却材の循環設備 ほう酸注入機能を有する設備、熱遮蔽材、原子炉容器

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	備考
検査日	令和元年 8月28日	令和元年 8月28日 29日	令和元年 8月28日 29日	年 月 日	上部炉心支柱 制約箇所内管
結果	良	良	良	/	
検査日	令和元年 8月28日	令和元年 8月28日	令和元年 8月28日	年 月 日	熱遮蔽材
結果	良	良	良	/	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	令和2 6月25日	
結果				良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書(変更申請を含む。)が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月28日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号(変更申請番号を含む。)を記載する。
		令和2年 6月22日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	令和元年 8月28日	良	
		令和2年 6月22日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 8月28日	良	
		令和2年 6月22日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月10日	良	
		平成30年 7月25日	良	
		平成30年 9月7日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月10日	良	
		平成30年 7月25日	良	
		平成30年 9月7日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月10日	良	
		平成30年 7月25日	良	
		平成30年 9月7日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月10日	良	
		平成30年 7月25日	良	
		平成30年 9月7日	良	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成30年 7月10日	良	
		平成30年 7月25日	良	
		平成30年 9月7日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 8月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月10日	良	
		平成30年 7月25日	良	
		平成30年 9月7日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月10日	良	
		平成30年 7月25日	良	
		平成30年 9月7日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月28日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和2年 6月22日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和2年 6月22日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機

材料検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象		材料	検査年月日	検査結果	検査方法
炉心そう※ ¹		SUS304	平成30年 9月7日	良	記録確認
上部炉心支持板※ ¹	胴	SUS304	平成30年 7月25日	良	
	円板	SUSF304	平成30年 7月25日	良	
	フランジ	SUSF304	平成30年 7月25日	良	
上部炉心板※ ¹		SUS304	平成30年 7月25日	良	
上部炉心支持柱※ ¹		SUS304TKA	令和元年 8月28日	良	

備考

※1：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1901

美浜発電所第3号機				
材料検査記録				
検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部				
検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物 原子炉本体 熱遮蔽材 原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器内部構造物				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
下部炉心支持板※ ¹	SUSF304	平成30年 9月7日	良	記録確認
下部炉心板※ ¹	SUS304	平成30年 7月10日	良	
下部炉心支持柱※ ¹	SUS304	平成30年 7月10日	良	
熱遮蔽材	SUS304	令和元年 8月28日	良	
制御棒クラスタ案内管	SUS304	令和元年 8月28日	良	
備 考				
※1：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用				
・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。				
※2：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1901				

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
炉心そう ^{※3}	内径	■ ^{※1}	■	平成30年 9月7日	良	目視 記録確認
	厚さ	■ ^{※1}	■	平成30年 9月7日	良	目視 記録確認
	高さ	■ ^{※1}	■	平成30年 9月7日	良	目視 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

※3：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

~~記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。 ※4：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

木上、中、下部及び下部の測定のうち、上部のみ

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
炉心そう ^{※3}	内径	■ ^{※1}	■	平成30年 9月7日	良	目視 [※] 記録確認
	厚さ	■ ^{※1}	■	年 月 日		目視 [※] 記録確認
	高さ	■ ^{※1}	■	年 月 日		目視 [※] 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

※3：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

・記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。 ※4：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1901

※上各部、中部及び下部の測定のうち、中部及び下部のみ

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
上部炉心支持板 ^{※3}	フランジ外径	■	■	平成30年 7月25日	良	目視 記録確認
	胴外径	■	■	平成30年 7月25日	良	目視 記録確認
	円板厚さ	■	■	平成30年 7月25日	良	目視 記録確認
	フランジ厚さ	■	■	平成30年 7月25日	良	目視 記録確認
	胴厚さ	■	■	平成30年 7月25日	良	目視 記録確認
	高さ	■	■	平成30年 7月25日	良	目視 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

※3：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。 ※4：適合性確認検査成績書の識別番号

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
上部炉心板 ^{※3}	外径	■■■■	■■■■	平成30年 7月25日	良	(目視) 記録確認
	厚さ	■■■■	■■■■	平成30年 7月25日	良	(目視) 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

※3：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

~~記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。 ※4：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
上部炉心支持柱 ^{※3}	外径	■ ^{※1}	■ ^{※4} (■)	令和元年 8月28日	良	目視 ^{※4} 記録確認
	厚さ	■ ^{※1}	■ ^{※4} (■)	令和元年 8月29日	良	目視 ^{※4} 記録確認
	炉心板間距離	■ ^{※1}	■	令和元年 8月28日	良	目視 ^{※4} 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

※3：原子炉炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

※4：確認した上部炉心支持柱（識別番号： A12 ）

・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。 ※5：適合性確認検査成績書の識別番号： M3-1-1901

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
下部炉心支持板 ^{※3}	外径	■	■	平成30年 9月7日	良	目視 記録確認
	厚さ	■	■	平成30年 9月7日	良	目視 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

※3：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

~~記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。 ※4：適合性確認検査成績書の識別番号~~

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値※2 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
下部炉心板※3	外径	■■■■	■■■■	平成30年 7月10日	良	目視 記録確認
	厚さ	■■■■	■■■■	平成30年 7月10日	良	目視 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

※3：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

~~記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。 ※4：適合性確認検査成績書の識別番号~~

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
下部炉心支持柱 ^{※3}	外径	■ ^{※1}	■ ^{※4}	平成30年 7月10日	良	目視 ^{※4} 記録確認
	内径	■ ^{※1}	■ ^{※4}	平成30年 7月10日	良	目視 ^{※4} 記録確認
	高さ	■ ^{※1}	■ ^{※4}	平成30年 7月10日	良	目視 ^{※4} 記録確認

備考

- ※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。
- ※3：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- ※4：確認した下部炉心支持柱（識別番号：AA1&）
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※5）による。 ※5：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1901

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 熱遮蔽材

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値※2 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
熱遮蔽材	厚さ	■	■	令和元年 8月28日	良	目視
	円弧長さ	■※1	■	令和元年 8月28日	良	目視
	高さ	■※1	■	令和元年 8月28日	良	目視

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器内部構造物

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
制御棒クラスター 案内管	一辺の長さ	■■■■ ^{※1}	■■■■ ^{※3}	令和元年 8月28日	良	目視 ^{※3} 記録確認
	厚さ	■■■■ ^{※1}	■■■■ ^{※3}	令和元年 8月29日	良	目視 ^{※3} 記録確認
	全長	■■■■ ^{※1}	■■■■ ^{※3}	令和元年 8月29日	良	目視 ^{※3} 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。
 ※3：確認した制御棒クラスター案内管（識別番号：KM3-931）
 ・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。 ※4：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1901

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

原子炉本体 熱遮蔽材

原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器内部構造物

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
炉心そう※1	平成30年 9月7日	良	目視
上部炉心支持板※1	平成30年 7月25日	良	目視
上部炉心板※1	平成30年 7月25日	良	目視
上部炉心支持柱※1	令和元年 8月28日	良	目視
下部炉心支持板※1	平成30年 9月7日	良	目視
下部炉心板※1	平成30年 7月10日	良	目視
下部炉心支持柱※1	平成30年 7月10日	良	目視
熱遮蔽材	令和元年 8月28日	良	目視
制御棒クラスタ案内管	令和元年 8月28日	良	目視

備考

※1：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちのほう酸注入機能を有する設備と兼用

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：原子炉本体 炉心 炉心支持構造物

原子炉本体 熱遮蔽材

原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器内部構造物

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
炉心そう※ ¹	令和2年 6月22日	良	目視
上部炉心支持板※ ¹	令和2年 6月22日	良	目視
上部炉心板※ ¹	令和2年 6月22日	良	目視
上部炉心支持柱※ ¹	令和2年 6月22日	良	目視
下部炉心支持板※ ¹	令和2年 6月22日	良	目視
下部炉心板※ ¹	令和2年 6月22日	良	目視
下部炉心支持柱※ ¹	令和2年 6月22日	良	目視
熱遮蔽材	令和2年 6月22日	良	目視
制御棒クラスタ案内管	令和2年 6月22日	良	目視

備考

※1：原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちのほう酸注入機能を有する設備と兼用

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日:平成30年7月10日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	パイテ-プ				2018.2.19 2019.2.28	下部心板
寸法検査	外側マイクロ メ-タ				2018.2.21 2019.2.28	同上
寸法検査	外側マイクロ メ-タ				2018.2.19 2019.2.28	下部心支脚柱
寸法検査	シリンダ ゲ-ジ				2017.7.20 2018.7.31	同上
寸法検査	ダイヤル ゲ-ジ				2017.9.21 2018.9.30	同上
寸法検査	ノギス				2018.5.17 2019.5.31	同上

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：平成30年7月25日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	パイテ-プ				2018.2.20 2019.2.28	上部炉心支持板
寸法検査	パイテ-プ				2018.2.19 2019.2.28	上部炉心支持板 上部炉心板
寸法検査	外側マイクロ X-7				2018.2.19 2019.2.28	上部炉心支持板
寸法検査	外側マイクロ X-7				2018.3.26 2019.3.31	同上
寸法検査	超音波式 厚み計				2018.3.26 2019.3.31	同上
寸法検査	継足式内側 マイクロX-7				2017.9.22 2018.9.30	同上
寸法検査	外側マイクロ X-7				2018.2.19 2019.2.28	上部炉心板

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：平成30年 9月 7日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	超音波式 厚み計				2018.3.26	炉心そう
					2019.3.31	
寸法検査	継足式 内側マイクロメータ				2018.6.28	炉心そう
					2019.6.30	
寸法検査	銅製巻尺				2018.6.25	炉心そう
		2019.6.30	下部炉心支持板			
寸法検査	ノギス				2018.4.5	下部炉心支持板
					2019.4.30	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 8月 28日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	外側 マイクロメータ				2019年2月21日 2020年2月29日	上部炉心支持柱
寸法検査	超音波厚み計				2019年4月1日 2020年4月30日	上部炉心支持柱 制御棒カラム内管 熱遮蔽材
寸法検査	組立式 内側マイクロメータ				2019年6月21日 2020年6月30日	上部炉心支持柱
寸法検査	ノギス				2019年5月30日 2020年5月31日	制御棒カラム内管
寸法検査	鋼製巻尺				2019年6月24日 2020年6月30日	制御棒カラム内管 熱遮蔽材

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

系統名 : 燃料取扱設備

新燃料又は使用済燃料を取扱う機器

使用済燃料ピットクレーン(1・2・3号機共用)

要領書番号 : 原規規収第1712152号2-02



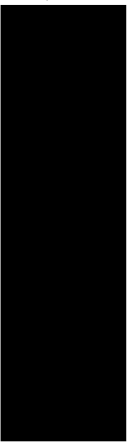
平成30年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号（平成29年12月15日）
関原発第427号（平成30年3月16日）
関原発第62号（平成30年4月20日）
関原発第158号（平成30年6月25日）
- 4 検査期日 自平成30年7月2日
至平成30年7月3日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機、
発電用原子炉施設、
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、
燃料取扱設備、
新燃料又は使用済燃料を取扱う機器、
使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用） 1個、
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 9 添付資料 使用前検査記録
1 検査前確認事項
2 材料検査記録
3 寸法検査記録
4 外観検査記録
5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
平成30年 7月23日	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="text-align: center;">  岸 国 基 </div> <div style="text-align: center;">  水 戸 尚 哉 </div> </div> </div>	ボイラー、タービン 主任技術者 	なし
年 日 月		主任技術者	/
年 日 月		主任技術者	/

検査結果一覧表

系統名：燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器 使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用）

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	備考
検査日	平成30年 7月2日	平成30年 7月2,3日	平成30年 7月2日	平成30年 7月2日	
結果	良	良	良	良	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果					
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果					

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月2日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月2日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成30年 7月23日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月2日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月2日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 7月2日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 7月2日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

燃料取扱設備

新燃料又は使用済燃料を取扱う機器

使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用）

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットクレーン (上部ガード)		平成30年 7月2日	良	記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0104

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 燃料取扱設備 新燃料又は使用済燃料を取扱う機器
使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用）

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットクレーン	ブリッジ幅	■ ^{※1}	■	■	平成30年 7月23日	良	記録確認
	走行レール間距離 ^{※3}	■ ^{※1}	■	■			
	高さ	■ ^{※1}	■	■			
	上部ガード幅	■ ^{※1}	■	■			
	上部ガード高さ	■ ^{※1}	■	■			

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画及びメカ基準による。 ※3：延長レール部を示す。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。 ※4：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0104, M3-1-0105

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

燃料取扱設備

新燃料又は使用済燃料を取扱う機器

使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用）

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットクレーン	平成30年 7月2日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~~~※：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

燃料取扱設備

新燃料又は使用済燃料を取扱う機器

使用済燃料ピットクレーン（1・2・3号機共用）

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットクレーン	平成30年 7月2日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~

~~※：適合性確認検査成績書の識別番号~~

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

系統名 : 使用済燃料貯蔵設備
使用済燃料貯蔵ラック
破損燃料貯蔵ラック

要領書番号 : 原規規収第1712152号2-04

令和2年5月

原子力規制委員会

使用前検査成績書



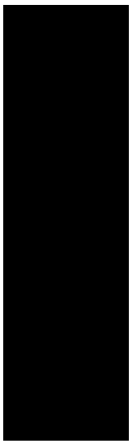






- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日)、関原発第61号(令和元年5月16日)
関原発第427号(平成30年3月16日)、関原発第121号(令和元年6月28日)
関原発第62号(平成30年4月20日)、関原発第167号(令和元年7月25日)
関原発第158号(平成30年6月25日)
関原発第201号(平成30年7月4日) 関原発第216号(2019年9月2日)
関原発第414号(平成30年12月5日) 関原発第640号(2020年3月24日)
関原発第517号(平成31年2月6日) 関原発第650号(2020年3月30日)
関原発第30号(2020年4月7日)
- 4 検査期日 自 平成30年6月21日
至 令和2年5月27日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
使用済燃料貯蔵設備
使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック(1・2・3号機共用)
8個(使用済燃料ピットラックブロック)
破損燃料貯蔵ラック
破損燃料保管容器ラック(1・2・3号機共用)
2個(使用済燃料ピットラックブロック共用)
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料










使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官・印	検査立会責任者 印	特記事項
平成30年 6月21日 22日	 上田 洋  柳 健	ボイラー・タービン  主任技術者	なし
平成30年 10月17日 18日	 上田 洋  須 実	ボイラー・タービン  主任技術者	なし
平成31年 2月7日	 岸 国 基  高 橋 和 宏	ボイラー・タービン  主任技術者	なし

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
平成31年 2月13日	 岸 田 国 基  奥 本 昭 治	ボイラー・タービン  主任技術者	なし
平成31年 2月27日	 上 田 洋  柳 健	ボイラー・タービン  主任技術者	なし
平成31年 3月26日 27日	 高 須 洋 司  須 貝 実	ボイラー・タービン  主任技術者	なし

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 5月29日	須貝 実 山形 英実	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし
令和元年 6月26日	須貝 実 水方 侑哉	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし
令和元年 8月2日	上田 洋 中田 聡	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 10月9日	須貝 実	ボイラー・タービン 主任技術者	なし
令和2年 1月28日	高橋 和宏	ボイラー・タービン 主任技術者	なし
令和2年 5月27日	原子力検査官 大江 勇人	ボイラー・タービン 主任技術者	なし

検査結果一覧表

系統名：使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック、破損燃料貯蔵ラック

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	備考
検査日	平成30年 6月21日	平成30年 6月21日	平成30年 6月22日	年 月 日	
結果	良	良	良		
検査日	平成30年 10月17日	平成30年 10月17日	平成30年 10月17日	年 月 日	
結果	良	良	良		
検査日	年 月 日	年 月 日	平成31年 2月7日	年 月 日	
結果			良		

検査結果一覧表

系統名：使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック、破損燃料貯蔵ラック

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	備考
検査日	年 月 日	年 月 日	平成31年 2月13日	年 月 日	
結果			良		
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	平成31年 2月27日	
結果				良	
検査日	平成31年 3月26日	平成31年 3月27日	平成31年 3月26日	年 月 日	
結果	良	良	良		

検査結果一覧表

系統名：使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック、破損燃料貯蔵ラック

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	備考
検査日	年 月 日	令和元 年 5月29日	年 月 日	年 月 日	
結果		良			
検査日	年 月 日	年 月 日	令和元 年 6月26日	令和元 年 6月26日	
結果			良	良	
検査日	年 月 日	令和元 年 8月2日	年 月 日	年 月 日	
結果		良			

検査結果一覧表

系統名：使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック、破損燃料貯蔵ラック

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	備考
検査日	年 月 日	年 月 日	令和元年 10月9日	令和元年 10月9日	
結果			良	良	
検査日	年 月 日	年 月 日	令和2年 1月28日	令和2年 1月28日	
結果			良	良	
検査日	年 月 日	年 月 日	令和2年 5月27日	令和2年 5月27日	
結果			良	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録 検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成30年 10月17日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		平成31年 2月7日	良	
		平成31年 2月13日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	平成30年 10月17日	良	
		平成31年 2月7日	良	
		平成31年 2月13日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録 検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月27日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		平成31年 3月 ²⁶ 27日	良	
		令和元年 5月29日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	平成31年 2月27日	良	
		平成31年 3月 ²⁶ 27日	良	
		令和元年 5月29日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 6月26日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 8月2日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	令和元年 6月26日	良	
		令和元年 8月2日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月9日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和2年 1月28日	良	
		令和2年 5月27日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	令和元年 10月9日	良	
		令和2年 1月28日	良	
		令和2年 5月27日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 6月21日	良	
		平成30年 10月17日	良	
		平成31年 3月26日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 6月21日	良	
		平成30年 10月17日	良	
		平成31年 3月26日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 6月 ²¹ / ₂₂ 日	良	
		平成30年 10月 ¹⁷ / ₁₈ 日	良	
		平成31年 3月 ²⁶ / ₂₇ 日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 6月 ²¹ / ₂₂ 日	良	
		平成30年 10月 ¹⁷ / ₁₈ 日	良	
		平成31年 3月 ²⁶ / ₂₇ 日	良	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成30年 6月 ²¹ / ₂₂ 日	良	
		平成30年 10月 ¹⁷ / ₁₈ 日	良	
		平成31年 3月 ²⁶ / ₂₇ 日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月2日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月2日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 5月29日	良	
		令和元年 8月2日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 6月22日	良	
		平成30年 10月17日	良	
		平成31年 2月7日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 6月22日	良	
		平成30年 10月17日	良	
		平成31年 2月7日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月13日	良	
		平成31年 3月26日	良	
		令和元年 6月26日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 2月13日	良	
		平成31年 3月26日	良	
		令和元年 6月26日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月9日	良	
		令和2年 1月28日	良	
		令和2年 5月27日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月9日	良	
		令和2年 1月28日	良	
		令和2年 5月27日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成31年 2月27日	良	
		令和元年 6月26日	良	
		令和元年 10月9日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成31年 2月27日	良	
		令和元年 6月26日	良	
		令和元年 10月9日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和2年 1月28日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和2年 1月28日	良	
		令和2年 5月27日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機

材料検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社美浜発電所~~

三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象		使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックセル	ラックブロック No. 1	[REDACTED]	平成31年 3月26日	良	記録確認
	ラックブロック No. 2		平成30年 10月17日	良	
	ラックブロック No. 3		平成30年 6月21日	良	
	ラックブロック No. 4		平成30年 6月21日	良	
	ラックブロック No. 5		平成31年 3月26日	良	
	ラックブロック No. 6		平成30年 10月17日	良	
	ラックブロック No. 7		平成30年 6月21日	良	
	ラックブロック No. 8		平成30年 6月21日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

美浜発電所第3号機

材料検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社美浜発電所~~

三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 破損燃料貯蔵ラック
破損燃料保管容器ラック（1・2・3号機共用）

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象		使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックセル	ラックブロック No. 5	[REDACTED]	平成31年 3月26日	良	記録確認
	ラックブロック No. 8		平成30年 6月21日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. <u>1</u>	中心間距離 (アドレス: K29) (アドレス: K30)	※1			令和元年 8月2日	良	目視
	内のり (識別番号: K20K)	※1			平成31年 3月26日	良	
	高さ (識別番号: K20K) (アドレス: K30)	※1			平成31年 ^{※3} 3月26日 ^{※4} 令和元年 ^{※5} 8月2日	良	
	厚さ (識別番号: K20K)	※1			平成31年 3月26日	良	

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

※3：高さ測定値＝ラックセル高さ (測定値：)

※4：+ベースプレート厚さ (測定値：)

※5 (mm)

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. <u>2</u>	中心間距離 (アドレス: K20) (アドレス: K19)	■ ^{※1}	■	■	令和元年 5月29日	良	目視
	内のり (識別番号: J63H)	■ ^{※1}	■	■	平成30年 10月17日	良	
	高さ (識別番号: J63H) (アドレス: K20)	■ ^{※1}	■	■	平成30年 ^{※3} 10月17日 ^{※4} 令和元年 ^{※5} 5月29日	良	
	厚さ (識別番号: J63H)	■ ^{※1}	■	■	平成30年 10月17日	良	

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

※3：高さ測定値＝ラックセル高さ (測定値： ■ mm) ※4：ベースプレート厚さ (測定値： ■ mm) ※5

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. <u>3</u>	中心間距離 (アドレス: G9) (アドレス: H9)	※1			平成31年 3月27日	良	目視
	内のり (識別番号: C61D)	※1			平成30年 6月22日	良	
	高さ (識別番号: C61D) (アドレス: G9)	※1			平成30年 ^{※3} 6月22日 ^{※4} 平成31年 ^{※5} 3月27日	良	
	厚さ (識別番号: C61D)	※1			平成30年 6月22日	良	

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

※3：高さ測定値=ラックセル高さ (測定値: [redacted])

※4：+ベースプレート厚さ (測定値: [redacted])

※5 (mm)

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. 4	中心間距離 (アドレス: K7) (アドレス: K8)	※1	■	■	平成30年 10月18日	良	目視
	内のり (識別番号: D74C)	※1	■	■	平成30年 6月22日	良	
	高さ (識別番号: D74C) (アドレス: K7)	※1	■	■	平成30年 ^{※4} 6月22日 平成30年 ^{※5} 10月18日	良	
	厚さ (識別番号: D74C)	※1	■	■	平成30年 6月22日	良	

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

※3：高さ測定値＝ラックセル高さ (測定値： ■ mm) ※4＋ベースプレート厚さ (測定値： ■ mm) ※5

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. <u>5</u>	中心間距離 (アドレス：L29) (アドレス：L30)	※1	■	■	令和元年 8月2日	良	目視
	内のり (識別番号：M24K)	※1	■	■	平成31年 3月26日	良	
	高さ (識別番号：M24K) (アドレス：L30)	※1	■	■	※3 平成31年 3月26日 ^{※4} 令和元年 ^{※5} 8月2日	良	
	厚さ (識別番号：M24K)	※1	■	■	平成31年 3月26日	良	

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

※3：高さ測定値=ラックセル高さ (測定値： ■ mm)

※4：+スペースプレート厚さ (測定値： ■ mm)

※5

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. <u>6</u>	中心間距離 (アドレス： L20) (アドレス： L19)	※1			令和元年 5月29日	良	目視
	内のり (識別番号： K10J)	※1			平成30年 10月17日	良	
	高さ (識別番号： K10J) (アドレス： L20)	※1			平成30年 ^{※3} 10月17日 ^{※4} 令和元年 ^{※5} 5月29日	良	
	高さ (識別番号： K10J)	※1			平成30年 10月17日	良	

備考

※1：公称値.

※2：許容値は工事計画による。

※3：高さ測定値＝ラックセル高さ (測定値：)

※4：ベースプレート厚さ (測定値：)

※5 (mm)

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. <u>7</u>	中心間距離 (アドレス: VII) (アドレス: VIO)	※1	■	■	平成31年 3月27日	良	目視
	内のり (識別番号: G59G)	※1	■	■	平成30年 6月22日	良	
	高さ (識別番号: G59G) (アドレス: VII)	※1	■	■	平成30年 ^{※4} 6月22日 平成31年 ^{※5} 3月27日	良	
	厚さ (識別番号: G59G)	※1	■	■	平成30年 6月22日	良	

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

※3：高さ測定値=ラックセル高さ (測定値：
■ mm) ※4+ペースプレート厚さ (測定値：
■ mm) ※5

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. <u>8</u>	中心間距離 (アドレス: L7) (アドレス: L8)	■ ^{※1}	■	■	平成30年 10月18日	良	目視
	内のり (識別番号: A11A)	■ ^{※1}	■	■	平成30年 6月22日	良	
	高さ (識別番号: A11A) (アドレス: L7)	■ ^{※1}	■	■	平成30年 ^{※4} 6月22日 ^{※4} 平成30年 ^{※5} 10月18日 ^{※5}	良	
	厚さ (識別番号: A11A)	■ ^{※1}	■	■	平成30年 6月22日	良	

備考

※1：公称値

※2：許容値は工事計画による。

※3：高さ測定値=ラックセル高さ (測定値: ■ mm) ※4 +ベースプレート厚さ (測定値: ■ mm) ※5

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：~~明西電力株式会社美浜発電所~~ 三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※3} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. 1	中心間距離	■ ^{※2}	■	■	令和元年 8月2日	良	記録確認 ^{※4}
	内のり	■ ^{※2}	■	■	平成31年 3月26日	良	
	高さ	■ ^{※2}	■	■	令和元年 8月2日	良	
	厚さ	■ ^{※2)}	■	■	平成31年 3月26日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

※4：目視で確認した対象を除く範囲

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：~~美浜電力株式会社~~美浜発電所 三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※3} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロッック No. 2	中心間距離	■ ^{※2}	■	■	令和元年 5月29日	良	記録確認 ^{※4}
	内のり	■ ^{※2}	■	■	平成30年 10月17日	良	
	高さ	■ ^{※2}	■	■	令和元年 5月29日	良	
	厚さ	■ ^{※2)}	■	■	平成30年 10月17日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

※4：目視で確認した対象を除く範囲

美浜発電所第3号機						
<p style="text-align: center;">寸法検査記録</p>						
検査場所： 関西電力株式会社美浜発電所 三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部 検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)						
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。						
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※3} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロッック No. 3	中心間距離	■ ^{※2}	■	平成31年 3月26日	良	記録確認 ^{※4}
	内のり	■ ^{※2}	■	平成30年 6月21日	良	
	高さ	■ ^{※2}	■	平成31年 3月26日	良	
	厚さ	■ ^{※2)}	■	平成30年 6月21日	良	
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101 ※2：公称値 ※3：許容値は工事計画による。 ※4：目視で確認した対象を除く範囲						

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所 三菱重工業株式会社 パワードメイト原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値 ^{※3} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロッック No. 4	中心間距離	■ ^{※2}	■	■	平成30年 10月18日	良	記録確認 ^{※4}
	内のり	■ ^{※2}	■	■	平成30年 6月21日	良	
	高さ	■ ^{※2}	■	■	平成30年 10月18日	良	
	厚さ	■ ^{※2)}	■	■	平成30年 6月21日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

※4：目視で確認した対象を除く範囲

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社美浜発電所~~ 三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値*3 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. 5	中心間距離	■*2	■	■	令和元年 8月2日	良	記録確認*4
	内のり	■*2	■	■	平成31年 3月26日	良	
	高さ	■*2	■	■	令和元年 8月2日	良	
	厚さ	■*2)	■	■	平成31年 3月26日	良	

備考

- ・記録確認は、申請者の品質記録 (※1) による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101
- ※2：公称値
- ※3：許容値は工事計画による。
- ※4：目視で確認した対象を除く範囲

美浜発電所第3号機						
<p style="text-align: center;">寸法検査記録</p>						
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所 三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部						
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)						
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。						
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値*3 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. 6	中心間距離	■*2	■	令和元年 5月29日	良	記録確認*4
	内のり	■*2	■	平成30年 10月17日	良	
	高さ	■*2	■	令和元年 5月29日	良	
	厚さ	■*2)	■	平成30年 10月17日	良	
備考						
・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101						
※2：公称値						
※3：許容値は工事計画による。						
※4：目視で確認した対象を除く範囲						

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所 三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 (mm)	許容値※3 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロッック No. 7	中心間距離	※2			平成31年 3月26日	良	
	内のり	※2			平成30年 6月21日	良	
	高さ	※2			平成31年 3月26日	良	記録確認※4
	厚さ	※2)			平成30年 6月21日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

※4：目視で確認した対象を除く範囲

美浜発電所第3号機									
寸法検査記録									
検査場所：東亜電力株式会社美浜発電所 三菱重工業株式会社 パワードメイト原子力事業部									
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)									
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。									
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※3} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法			
ラックブロッック No. 8	中心間距離	※2		平成30年 10月18日	良	記録確認 ^{※4}			
	内のり	※2		平成30年 6月21日	良				
	高さ	※2		平成30年 10月18日	良				
	厚さ	※2)		平成30年 6月21日	良				
備考									
・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101									
※2：公称値									
※3：許容値は工事計画による。									
※4：目視で確認した対象を除く範囲									

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所、三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※3} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロック No. 5	中心間距離	※2	■	令和元年 8月2日	良	(目視) 記録確認
	内のり	※2	■	平成31年 3月26日	良	目視 ^{※4}
				平成31年 3月26日	良	記録確認 ^{※6}
	高さ	※2	■	平成31年 ^{※7} 3月26日 ^{※8}	良	目視 ^{※5}
令和元年 ^{※9} 8月2日				良	記録確認 ^{※6}	
厚さ	※2	■	令和元年 8月2日	良	目視 ^{※4}	
			平成31年 3月26日	良	記録確認 ^{※6}	

備考

- ・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101
- ※2：公称値 ※3：許容値は工事計画による。 ※4：確認した検査対象(識別番号：52)
- ※5：確認した検査対象(識別番号：52) ※6：目視で確認した対象を除く範囲
- ※7：高さ測定値=ラックセル高さ(測定値：■ mm) ※8：+ベースプレート厚さ(測定値：■ mm)
- ※9：■ mm

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社美浜発電所~~ 三菱重工業株式会社 パワードメイト原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管器ラック (1・2・3号機共用)

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※3} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
ラックブロッック No. 8	中心間距離	■ ^{※2}	■	平成30年 10月18日	良	目視 ^{※4} 記録確認 ^{※6}
	内のり	■ ^{※2}	■	平成30年 6月22日	良	目視 ^{※4}
	高さ	■ ^{※2}	■ ^{※7}	平成30年 6月22日 ^{※8}	良	記録確認 ^{※6}
			■	平成30年 10月18日 ^{※9}	良	目視 ^{※5}
厚さ	■ ^{※2}	■	平成30年 10月18日	良	記録確認 ^{※6}	
		■	平成30年 6月22日	良	目視 ^{※4}	
			■	平成30年 6月21日	良	記録確認 ^{※6}

備考

- ・記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101
- ※2：公称値 ※3：許容値は工事計画による。 ※4：確認した検査対象(識別番号：82)
- ※5：確認した検査対象(識別番号：82) ※6：目視で確認した対象を除く範囲
- ※7：高さ測定値=ラックセル高さ(測定値：■ mm) ※8：アドレス：D ※9：目視で確認した対象を除く範囲
- ※9：mm

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

~~破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック（1・2・3号機共用）~~

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. <u>1</u> ラックセル 識別番号： <u>K20K</u>	平成31年 3月26日	良	目視
破損燃料保管容器ラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. _____ ラックセル 識別番号：_____	____年 ____月 ____日		目視
備考				

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

~~破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)~~

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. <u>2</u> ラックセル 識別番号： <u>J63H</u>	平成30年 10月17日	良	目視
破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. _____ ラックセル 識別番号：_____	____年 ____月 ____日		目視
備考				

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備
 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)
~~破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)~~

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. <u>3</u> ラックセル 識別番号： <u>C61D</u>	平成30年 6月22日	良	目視
破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. _____ ラックセル 識別番号：_____	年 月 日		目視

備考

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備
 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）
~~破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック（1・2・3号機共用）~~

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. <u>4</u> ラックセル 識別番号： <u>D74C</u>	平成30年 6月22日	良	目視
破損燃料保管容器ラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. _____ ラックセル 識別番号：_____	年 月 日		目視

備考

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック（1・2・3号機共用）

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. <u>5</u> ラックセル 識別番号： <u>M24K</u>	平成31年 3月26日	良	目視
破損燃料保管容器ラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. <u>5</u> ラックセル 識別番号： <u>52</u>	平成31年 3月26日	良	目視

備考

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

~~破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)~~

判定基準：有害な欠陥 (表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食) がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. <u>6</u> ラックセル 識別番号： <u>K10J</u>	平成30年 10月17日	良	目視
破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. _____ ラックセル 識別番号：_____	____年 ____月 ____日		目視

備考

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

~~破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)~~

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. <u>7</u> ラックセル 識別番号： <u>G59G</u>	平成30年 6月22日	良	目視
破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. _____ ラックセル 識別番号：_____	年 月 日		目視

備考

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. <u>8</u> ラックセル 識別番号： <u>A11A</u>	平成30年 6月22日	良	目視
破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. <u>8</u> ラックセル 識別番号： <u>82</u>	平成30年 6月22日	良	目視

備考

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

~~三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部~~検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 1	令和2年 1月28日	良	目視 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

~~三菱重工業株式会社 パワートメイン原子力事業部~~検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 2	令和元年 10月9日	良	目視 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

美浜発電所第3号機				
外観検査記録				
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所 三菱重工業株式会社 パワー・ドメイン 原子力事業部				
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）				
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。				
検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 3	令和元年 6月26日	良	目視/ 記録確認
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101 				

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

~~三菱重工業株式会社 パワードメイン原子力事業部~~検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 4	平成31年 2月13日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~~~※1：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

~~三菱重工業株式会社 パワートメイン原子力事業部~~

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック（1・2・3号機共用）

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 5	令和2年 5月27日	良	目視/ 記録確認
破損燃料保管容器ラック （1・2・3号機共用）		令和2年 5月27日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

美浜発電所第3号機				
外観検査記録				
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所 三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部				
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）				
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。				
検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 6	令和元年 10月9日	良	目視/ 記録確認
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101 				

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

~~三菱重工業株式会社 パワー・ドメイン 原子力事業部~~検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）
がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 7	令和元年 6月26日	良	目視/ 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

~~三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部~~

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック（1・2・3号機共用）

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 8	平成31年 2月7日	良	目視 記録確認
破損燃料保管容器ラック （1・2・3号機共用）		平成31年 2月7日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~~~※1、適合性確認検査成績書の識別番号~~

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. 1	令和2年 1月28日	良	目視※2 記録確認

備考

- ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101, M3-3-0101
M3-3-0102, M3-3-0103

※2：以下の範囲を記録にて確認

- ・連結部が下部2箇所、上部3箇所設置されていることを確認。
ラックブロックNo. 1とNo. 2連結面：☑確認
- ・脚部（材料：■、表面粗さ：1.6a~6.3a）が■脚設置されていることを確認。☑確認
- ・平坦なフラットプレート上（段差：■以内）に設置されていることを確認。
フラットプレートNo. 1（材料：■、表面粗さ：1.6a~25a）と
No. 3、4連結面：☑確認
- ・初期設置位置に設置されていることを確認。☑確認

美浜発電所第3号機				
組立て及び据付け状態を確認する検査記録				
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所				
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 2	令和元年 10月9日	良	目視※2 記録確認
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。 <li style="padding-left: 20px;">※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101, M3-3-0101 M3-3-0102, M3-3-0103 <li style="margin-top: 10px;">※2：以下の範囲を記録にて確認 ・連結部が下部2箇所、上部3箇所設置されていることを確認。 <li style="padding-left: 20px;">ラックブロックNo. 2とNo. 3、6連結面：<input checked="" type="checkbox"/>確認 ・脚部（材料：■、表面粗さ：1.6a～6.3a）が■脚設置されていることを確認。<input checked="" type="checkbox"/>確認 ・平坦なフラットプレート上（段差：■以内）に設置されていることを確認。 <li style="padding-left: 20px;">フラットプレートNo. 3（材料：■、表面粗さ：1.6a～25a）と No. 4、5連結面：<input checked="" type="checkbox"/>確認 ・初期設置位置に設置されていることを確認。<input checked="" type="checkbox"/>確認 				

美浜発電所第3号機				
組立て及び据付け状態を確認する検査記録				
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所				
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）				
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。				
検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 3	令和元年 6月26日	良	目視※2 記録確認
備 考				
<p>・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。</p> <p>※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101, M3-3-0101 M3-3-0102, M3-3-0103</p> <p>※2：以下の範囲を記録にて確認</p> <p>・連結部が下部2箇所、上部3箇所設置されていることを確認。</p> <p>ラックブロックNo. 3とNo. 4連結面：☑確認</p> <p>・脚部（材料：■、表面粗さ：1.6a~6.3a）が■脚設置されていることを確認。☑確認</p> <p>・平坦なフラットプレート上（段差：■以内）に設置されていることを確認。</p> <p>フラットプレートNo. 5（材料：■、表面粗さ：1.6a~25a）と No. 7、8連結面：☑確認</p> <p>・初期設置位置に設置されていることを確認。☑確認</p>				

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. 4	平成31年 2月27日	良	目視※2 記録確認

備考

- 記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101, M3-3-0101
M3-3-0102, M3-3-0103

※2：以下の範囲を記録にて確認

- 連結部が下部2箇所、上部2箇所設置されていることを確認。

ラックブロックNo. 4とNo. 8連結面：確認

- 脚部（材料： 、表面粗さ：1.6a～6.3a）が 脚設置されていることを確認。確認

- 平坦なフラットプレート上（段差： 以内）に設置されていることを確認。

フラットプレートNo. 7（材料： 、表面粗さ：1.6a～25a）と

No. 8連結面：確認

- 初期設置位置に設置されていることを確認。確認

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)

破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. 5	令和2年 5月27日	良	目視/ 記録確認
破損燃料保管容器ラック (1・2・3号機共用)		令和2年 5月27日	良	目視/ 記録確認

備考

- 記録確認は、申請者の品質記録(※1)による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101, M3-3-0101
M3-3-0102, M3-3-0103

- 連結部が下部2箇所、上部3箇所設置されていることを確認。

ラックブロックNo. 5とNo. 1、6連結面：確認

- 脚部(材料： 、表面粗さ：1.6a~6.3a)が 脚設置されていることを確認。確認

- 平坦なフラットプレート上(段差： 以内)に設置されていることを確認。

フラットプレートNo. 2(材料： 、表面粗さ：1.6a~25a)と
No. 1、4連結面：確認

- 初期設置位置に設置されていることを確認。確認

美浜発電所第3号機			
組立て及び据付け状態を確認する検査記録			
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所			
検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）			
判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。			
検査対象		検査年月日	検査結果
		検査方法	
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. 6	令和元年 10月9日	良 目視※2 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。 ※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101, M3-3-0101 M3-3-0102, M3-3-0103 			
<p>※2：以下の範囲を記録にて確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 連結部が下部2箇所、上部3箇所設置されていることを確認。 ラックブロックNo. 6とNo. 7連結面：<input checked="" type="checkbox"/>確認 脚部（材料：■、表面粗さ：1.6a～6.3a）が■脚設置されていることを確認。<input checked="" type="checkbox"/>確認 平坦なフラットプレート上（段差：■以内）に設置されていることを確認。 フラットプレートNo. 4（材料：■、表面粗さ：1.6a～25a）と No. 5、6連結面：<input checked="" type="checkbox"/>確認 初期設置位置に設置されていることを確認。<input checked="" type="checkbox"/>確認 			

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵ラック
使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック (1・2・3号機共用)	ラックブロック No. 7	令和元年 6月26日	良	目視※2 記録確認

備考

- 記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101, M3-3-0101
M3-3-0102, M3-3-0103

※2：以下の範囲を記録にて確認

- 連結部が下部2箇所、上部3箇所設置されていることを確認。

ラックブロックNo. 7とNo. 3、8連結面：☑確認

- 脚部（材料：■、表面粗さ：1.6a～6.3a）が■脚設置されていることを確認。☑確認

- 平坦なフラットプレート上（段差：■以内）に設置されていることを確認。

フラットプレートNo. 6（材料：■、表面粗さ：1.6a～25a）と

No. 5、8連結面：☑確認

- 初期設置位置に設置されていることを確認。☑確認

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備

使用済燃料貯蔵ラック 使用済燃料ピットラック（1・2・3号機共用）

破損燃料貯蔵ラック 破損燃料保管容器ラック（1・2・3号機共用）

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象		検査年月日	検査結果	検査方法
使用済燃料ピットラック （1・2・3号機共用）	ラックブロック No. 8	平成31年 2月27日	良	目視/※2 記録確認
破損燃料保管容器ラック （1・2・3号機共用）		平成31年 2月27日	良	目視/※2 記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0101, M3-3-0101
M3-3-0102, M3-3-0103

※2：以下の範囲を記録にて確認。

- ・脚部（材料：■、表面粗さ：1.6a～6.3a）が■脚設置されていることを確認。☑確認
- ・フラットプレートNo. 8（材料：■ 表面粗さ：1.6a～25a）の材料が用いられていることを確認：☑確認
- ・初期設置位置に設置されていることを確認。☑確認

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日:平成30年6月22日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	超音波式厚み計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2018年2月9日 2019年2月28日	
寸法検査	超音波式厚み計				2018年3月9日 2019年3月31日	
寸法検査	デジタル式 ダイヤル"シ"				2017年10月20日 2018年10月31日	
寸法検査	鋼製巻尺				2017年12月1日 2018年12月31日	
以下余白						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：平成30年10月18日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	超音波式厚み計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2018年3月8日 2019年3月31日	
寸法検査	超音波式厚み計				2018年3月9日 2019年3月31日	
寸法検査	デジタル式 ダイヤルゲージ				2017年10月20日 2018年10月31日	
寸法検査	鋼製巻尺				2017年12月1日 2018年12月31日	
寸法検査	ノギス				2018年1月10日 2019年1月31日	
寸法検査	ノギス				2018年7月26日 2019年7月31日	
以下余白						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日:平成31年3月27日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	超音波式厚み計	[REDACTED]			2018年5月25日 2019年5月31日	
寸法検査	超音波式厚み計				2019年3月7日 2020年3月31日	
寸法検査	デジタル式 ダイヤルゲージ				2018年10月22日 2019年10月31日	
寸法検査	鋼製巻尺				2018年12月13日 2019年12月31日	
寸法検査	ノギス				2019年1月7日 2020年1月31日	
以下余白						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日: 令和元年 5月29日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	超音波式厚計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2019年3月7日	
					2020年3月31日	
寸法検査	ノギス	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2019年1月7日	
					2020年1月31日	
以下余白						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 8月2日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	超音波式 厚み計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2019年3月7日 2020年3月31日	
寸法検査	1キス				2019年1月7日 2020年1月31日	
寸法検査	1キス				2019年7月10日 2020年7月31日	
以下空白						

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：一次冷却材の循環設備

主配管

化学体積制御設備

主配管

要領書番号：原規規収第1712152号2-05

令和元年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日)
関原発第427号(平成30年3月16日)
関原発第62号(平成30年4月20日)
関原発第158号(平成30年6月25日)
関原発第201号(平成30年7月4日)
関原発第414号(平成30年12月5日)
関原発第517号(平成31年2月6日)
関原発第61号(2019年5月16日)
関原発第121号(2019年6月28日)
関原発第167号(2019年7月25日)
関原発第216号(2019年9月2日)
- 4 検査期日 自 令和元年9月20日
至 令和元年10月16日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
一次冷却材の循環設備
主配管 一式
化学体積制御設備
主配管 一式
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 耐圧検査、漏えい検査記録
- 7 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 9月20日	前田 用 [Redacted]	ボイラー・タービン [Redacted] 主任技術者	なし
令和元年 10月16日	増本 豊 [Redacted]	ボイラー・タービン [Redacted] 主任技術者	なし
年 月 日		主任技術者	

検査結果一覧表

系統名：一次冷却材の循環設備 主配管
 化学体積制御設備 主配管

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	耐圧検査、漏えい検査	備考
検査日	令和9年9月20日	令和9年9月20日	年月日	年月日	令和9年9月20日	
結果	良	良			良	
検査日	年月日	年月日	令和9年10月16日	令和9年10月16日	年月日	
結果			良	良		
検査日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	
結果						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書(変更申請を含む。)が準備されていること。	記録確認	令和元年 9月20日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号(変更申請番号を含む。)を記載する。
		令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	令和元年 9月20日	良	
		令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 9月20日	良	
		令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和元年 9月20日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		
	立会/ 記録確認	年 月 日		

美浜発電所第3号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管
化学体積制御設備 主配管

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
弁 (3V-8377) ～ 加圧器スプレライン合流点	SUS316TP	令和元年 9月20日	良	記録確認
弁 (3A0V-8145) ～ 弁 (3V-8377)	SUS316TP	令和元年 9月20日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録 (※) による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号： M3-1-0204

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管

化学体積制御設備 主配管

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	外径(mm)			厚さ(mm)			検査年月日	検査結果	検査方法
	主要寸法※1	許容値※2	測定値	主要寸法※1	許容値※2	測定値			
弁 (3V-8377) ～ 加圧器スプレライン 合流点	管	60.3	59.6～61.0	/	8.7	7.6～9.8	/	良	記録 確認
	管継手	114.3 / 60.3	112.7～115.9 / 59.5～61.9	/	11.1 / 8.7	9.7以上 / 7.6以上	/	良	
弁 (3A0V-8145) ～ 弁 (3V-8377)	管	60.3	59.5～61.9	/	8.7	7.6以上	/	良	
	管継手	60.3	59.6～61.0	/	8.7	7.6～9.8	/	良	
		60.3	59.5～61.9	/	8.7	7.6以上	/	良	

備考

※1：公称値、※2：許容値は工事計画による、※3：最小値
・記録確認は、申請者の品質記録(※4)による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0204

美浜発電所第3号機			
外観検査記録			
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管 化学体積制御設備 主配管			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
弁 (3V-8377) ～ 加圧器スプレライン合流点	令和元年 10月16日	良	目視
弁 (3A0V-8145) ～ 弁 (3V-8377)	令和元年 10月16日	良	目視
備 考			

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管
化学体積制御設備 主配管

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
弁 (3V-8377) ～ 加圧器スプレライン合流点	令和元年 10月16日	良	目視
弁 (3A0V-8145) ～ 弁 (3V-8377)	令和元年 10月16日	良	目視

備考

美浜発電所第3号機									
耐圧検査、漏えい検査記録									
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所									
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管 化学体積制御設備 主配管									
判定基準： ・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。 ・著しい漏えいがないこと。									
検査対象	最高使用 圧力 MPa	耐圧検査 規定圧力 MPa	耐圧検査時 圧力 MPa	保持 時間 分	漏えい 検査時圧力 MPa	水圧、気圧 区分	検査年月日	検査結果	検査方法
弁 (3V-8377) ～ 加圧器スプレライン合流点	17.16	21.45	22.2	11	22.0	水圧	令和元 年 9月20日	良	目視
弁 (3A0V-8145) ～ 弁 (3V-8377)	17.16	21.45	22.2	11	22.0	水圧	令和元 年 9月20日	良	目視
備考									

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覽表

検査年月日：令和元年 9月 20日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査、 漏れ検査	圧力計				2019年8月20日 2019年11月30日	
耐圧検査、 漏れ検査	圧力計				2019年8月20日 2019年11月30日	
以下空白						

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：一次冷却材の循環設備
主配管（常設）

要領書番号：原規規収第1712152号2-06

令和元年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日)
関原発第427号(平成30年3月16日)
関原発第62号(平成30年4月20日)
関原発第158号(平成30年6月25日)
関原発第201号(平成30年7月4日)
関原発第414号(平成30年12月5日)
関原発第517号(平成31年2月6日)
関原発第61号(令和元年5月16日)
関原発第121号(2019年6月28日)
関原発第167号(2019年7月25日)
関原発第216号(2019年9月2日)
- 4 検査期日 自 令和元年5月30日
至 令和元年10月16日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生


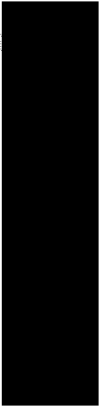





三菱重工業株式会社パワードメイン原子力事業部
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
一次冷却材の循環設備
主配管(常設)
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料



使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 耐圧検査、漏えい検査記録
- 7 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 5月30日	 須貝 実 山形 英男	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし
令和元年 6月7日	 川下 泰子  須貝 実	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし
令和元年 9月20日	 前田 剛	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元年 10月16日	<p>増本</p> 	<p>ボイラー・クワーズン</p>  <p>主任技術者</p>	なし
年 日 月		主任技術者	/
年 日 月		主任技術者	/

検査結果一覧表

系統名：一次冷却材の循環設備
主配管（常設）

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	耐圧検査、漏えい検査	備考
検査日	令和元年 5月30日	令和元年 5月30日	年 月 日	年 月 日	令和元年 5月30日	
結果	良	良			良	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	令和元年 6月7日	
結果					良	
検査日	年 月 日	令和元年 9月20日	年 月 日	年 月 日	令和元年 9月20日	
結果		良			良	

検査結果一覧表

系統名：一次冷却材の循環設備
主配管（常設）

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	耐圧検査、漏えい検査	備考
検査日	年 月 日	年 月 日	令和元年 10月16日	令和元年 10月16日	令和元年 10月16日	
結果			良	良	良	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果						
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月30日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 6月7日	良	
		令和元年 9月20日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 5月30日	良	
		令和元年 6月7日	良	
		令和元年 9月20日	良	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 5月30日	良	
		令和元年 6月7日	良	
		令和元年 9月20日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録 検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		年 月 日		
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月30日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月30日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月30日	良	
		令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月30日	良	
		令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 5月30日	良	
		令和元年 9月20日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 5月30日	良	
		令和元年 6月7日	良	
		令和元年 9月20日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 5月30日	良	
		令和元年 6月7日	良	
		令和元年 9月20日	良	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 5月30日	良	
		令和元年 6月7日	良	
		令和元年 9月20日	良	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和元年 5月30日	良	
	立会/ 記録確認	令和元年 6月7日	良	
	立会/ 記録確認	令和元年 9月20日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 10月16日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和元年 10月16日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		
	立会/ 記録確認	年 月 日		

美浜発電所第3号機

材料検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社美浜発電所~~

三菱重工業株式会社パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設

一次冷却材の循環設備

主配管（常設）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	SUS316TP	令和元年 5月30日	良	記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0205

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：~~関西電力株式会社美浜発電所~~
三菱重工株式会社パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	外径(mm)			厚さ(mm)			検査年月日	検査結果	検査方法
	主要 ^{*1} 寸法	許容値 ^{*2}	測定値	主要 ^{*1} 寸法	許容値 ^{*2}	測定値			
1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	114.3	113.1~115.5	113.73 ~ 114.53	11.1	9.7 ~ 12.5	10.52 ~ 11.51	令和元年 5月30日	良	
	114.3 ^{*3}	112.7~115.9	115.63 ~ 115.78	11.1	9.7以上	12.86 ^{*5}	令和元年 5月30日	良	※7 記録確認
	114.3 ^{*4} / 114.3 ^{*4} / 114.3 ^{*4}	112.7~115.9 / 112.7~115.9 / 112.7~115.9	115.69 ~ 115.71 / 115.66 ~ 115.78 / 115.58 ~ 115.68	11.1 / 11.1 / 11.1	9.7以上 / 9.7以上 / 9.7以上	17.56 ^{*5} / 17.77 ^{*5} / 16.85 ^{*5}	令和元年 5月30日	良	

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：エルボを示す。

※4：T継手を示す。 ※5：最小値

※7：溶接線番号FW-6(別紙3参照)及び溶接線番号FW-9(別紙5参照)を除く範囲について確認

※6：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0205

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

~~三菱重工業株式会社~~ ~~パナソニック~~ 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管（常設）：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	外径(mm)		測定値	主要寸法 ^{※1}	厚さ(mm)		検査年月日	検査結果	検査方法
	主要寸法 ^{※1}	許容値 ^{※2}			許容値 ^{※2}	測定値			
1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	114.3	113.1～115.5	～	11.1	9.7 ～ 12.5	～	年 月 日		
	114.3 ^{※3}	112.7～115.9	115.38～115.50	11.1	9.7以上	12.96 ^{※5}	昭和元年 9月20日	良	※7 記録確認
	114.3 ^{※4} / 114.3 ^{※4} / 114.3 ^{※4}	112.7～115.9 / 112.7～115.9 / 112.7～115.9	～ / ～ / ～	11.1 / 11.1 / 11.1	9.7以上 / 9.7以上 / 9.7以上	～ / ～ / ～	～ / ～ / ～	年 月 日	

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：エルボを示す。 ※4：T継手を示す。 ※5：最小値

・記録確認は、申請者の品質記録（※6）による。 ※7：添付記録番号FW-608(※3参照)及び添付記録番号FW-908(※5参照)に限る

※6：適合性確認検査成績書の識別番号： M3-1-0205

美浜発電所第3号機			
外観検査記録			
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所			
検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管（常設）：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	令和元年 10月16日	良	目視
備考 ・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号			

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設

一次冷却材の循環設備

主配管（常設）：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	令和元年 10月16日	良	目視

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号。

美浜発電所第3号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

三菱重工業株式会社パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。

・著しい漏えいがないこと。

検査対象	最高使用 圧力 (MPa)	耐圧検査 規定圧力 (MPa)	耐圧検査時 圧力 (MPa)	保持 時間 (分)	漏えい 検査時圧力 (MPa)	水圧、気圧 区分	検査年月日	検査 結果	検査方法
1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	17.16	21.45	22.1	11	22.1	水圧	令和元年 5月30日	良	※ 目視

備考：

※：溶接線番号FW-103FW-2、FW-203FW-3(別紙1参照)、溶接線番号FW-403FW-5、FW-503FW-6、FW-703FW-8(別紙3参照)及び溶接線番号FW-903FW-10(別紙5参照)の範囲について確認

美浜発電所第3号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

三菱重工業株式会社パワードメイン原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。

・著しい漏えいがないこと。

検査対象	最高使用 圧力 (MPa)	耐圧検査 規定圧力 (MPa)	耐圧検査時 圧力 (MPa)	保持 時間 (分)	漏えい 検査時圧力 (MPa)	水圧、気圧 区分	検査年月日	検査 結果	検査方法
1 次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	17.16	21.45	22.0	11	22.0	水圧	令和元年 6月7日	良	※ 目視

備考：

※：溶接線番号FW-6とFW-7(別紙3参照)の範囲について確認

美浜発電所第3号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

~~三菱重工業株式会社パワープラント原子力事業部~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。

・著しい漏えいがないこと。

検査対象	最高使用 圧力 (MPa)	耐圧検査 規定圧力 (MPa)	耐圧検査時 圧力 (MPa)	保持 時間 (分)	漏えい 検査時圧力 (MPa)	水圧、気圧 区分	検査年月日	検査 結果	検査方法
1次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	17.16	21.45	22.2	11	22.0	水圧	令和元年 9月20日	良	※ 目視

備考：

※：溶接検査番号FW-1からFW-2、FW-2からFW-3（別紙1参照）、溶接検査番号FW-4からFW-5、FW-5からFW-6、FW-6からFW-7、FW-7からFW-8（別紙3参照）及び溶接検査番号FW-9からFW-10（別紙5参照）を除く乾回トクにて確認

美浜発電所第3号機

耐圧検査、漏えい検査記録（代替検査）

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 主配管（常設）：一式

判定基準：・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。

・著しい漏えいがないこと。

検査対象	最高使用 圧力 (MPa)	耐圧検査 規定圧力 (MPa)	耐圧検査時 圧力 (MPa)	保持 時間 (分)	漏えい 検査時圧力 (MPa)	水圧、気圧 区分	検査年月日	検査結果*	検査方法
1 次冷却材管 A、Cループ低温側 加圧器スプレライン への分岐点 ～ 加圧器	17.16	—	—	—	—	—	令和元年 10月16日	* 良	目視

備考：

※：技術基準第21条の解釈に示す一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格(JSME S NC1-2005/2007)」に従い、同学会「溶接規格(JSME S NBI-2007)」表-7放射線透過試験の判定基準により確認

※ 溶接線番号 FW-1, FW-2, FW-3 (別紙1参照), 溶接線番号 FW-4, FW-5, FW-6, FW-7, FW-8 (別紙3参照) 及び

溶接線番号 FW-9, FW-10 (別紙5参照) について確認

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年5月30日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査、 漏れ検査	圧力計				2019年5月21日 2019年11月20日	
耐圧検査、 漏れ検査	圧力計				2019年5月28日 2019年11月30日	
以下余白						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 6 月 7 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査、 漏れ検査	圧力計				2019年5月31日 2019年11月30日	
耐圧検査、 漏れ検査	圧力計				2019年5月31日 2019年11月30日	
以下余白						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

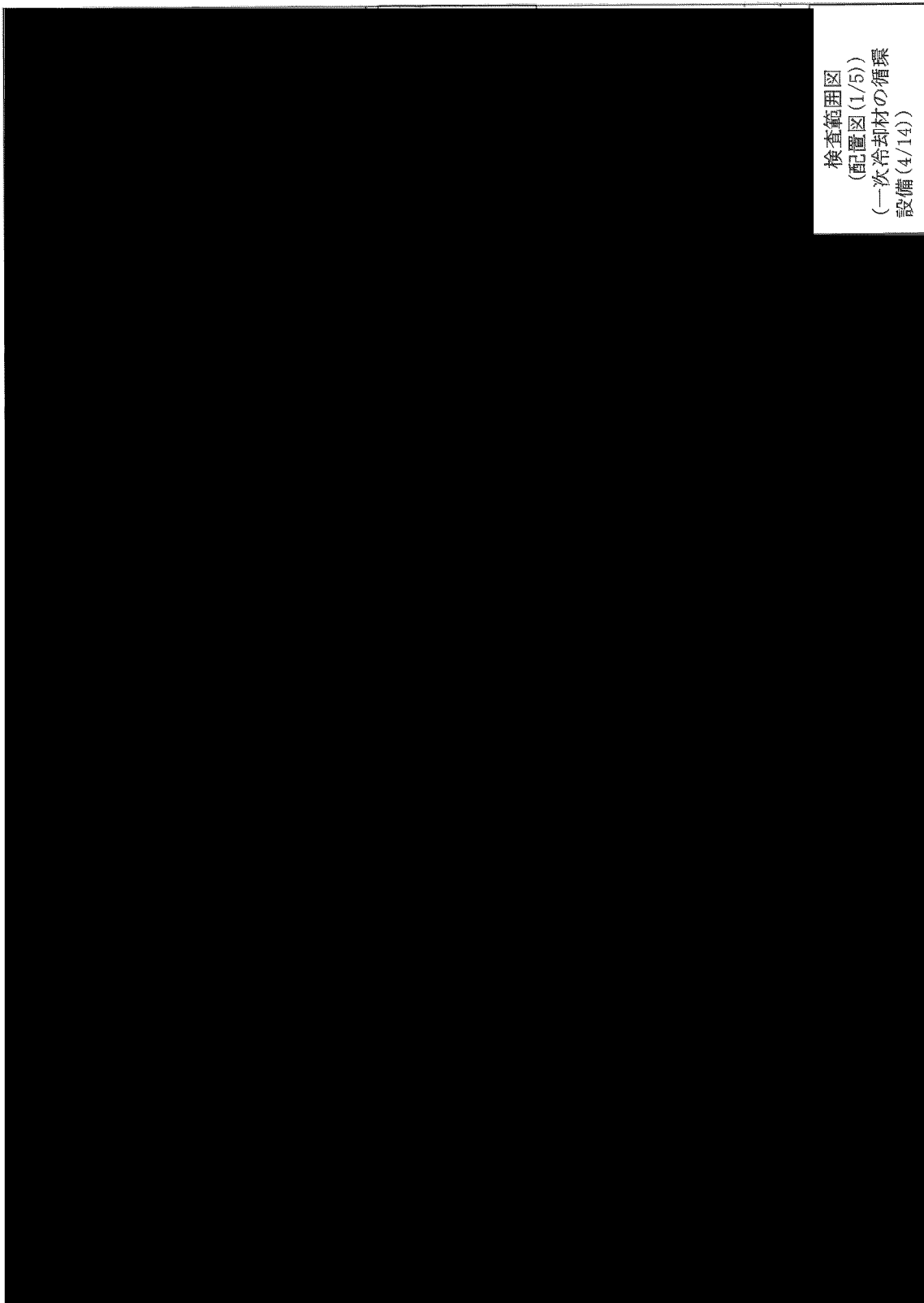
検査年月日: 令和元年 9月20日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査、 漏水検査	圧力計				2019年8月20日 2019年11月30日	
耐圧検査、 漏水検査	圧力計				2019年8月20日 2019年11月30日	
以下余白						

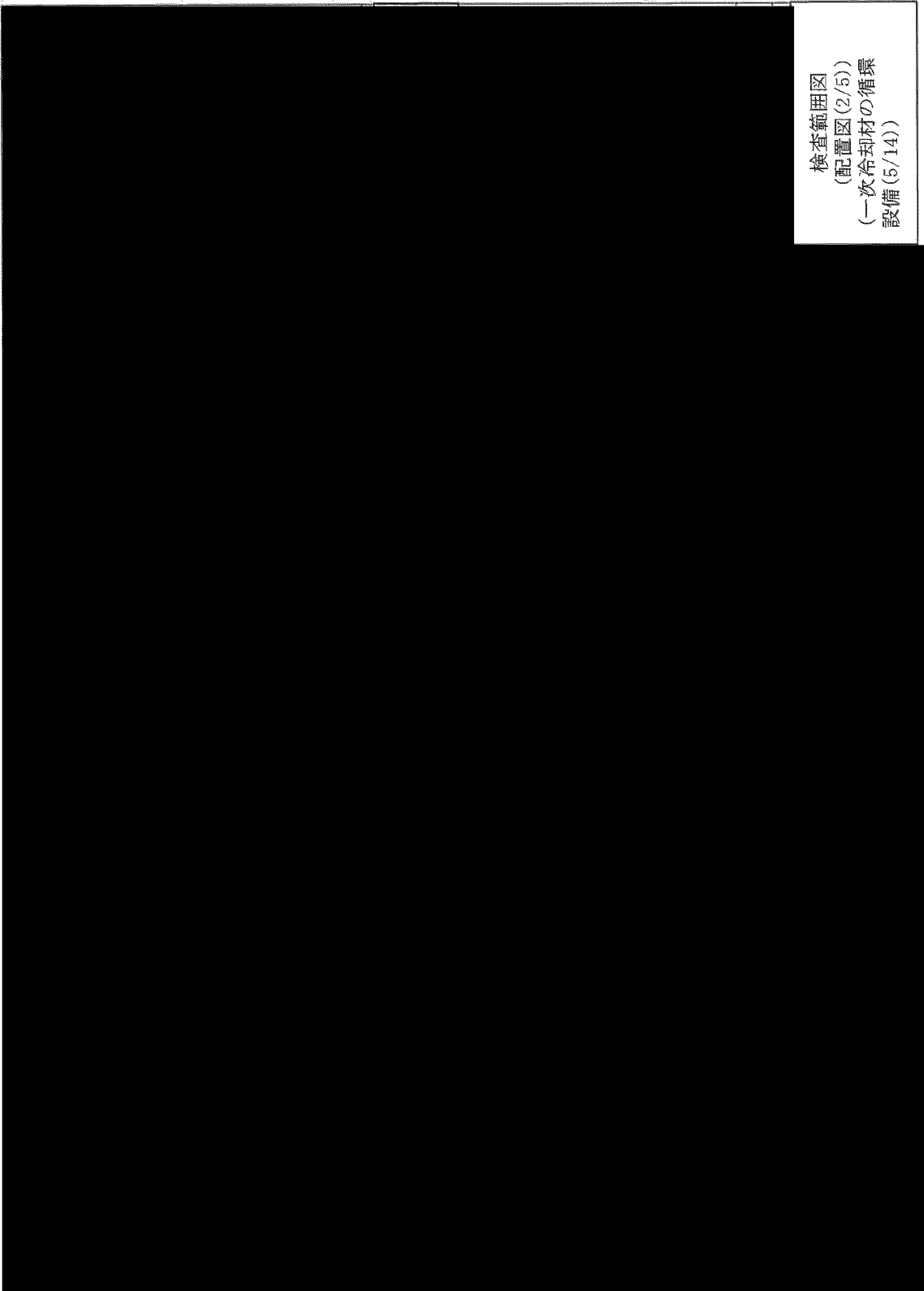
美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年10月16日

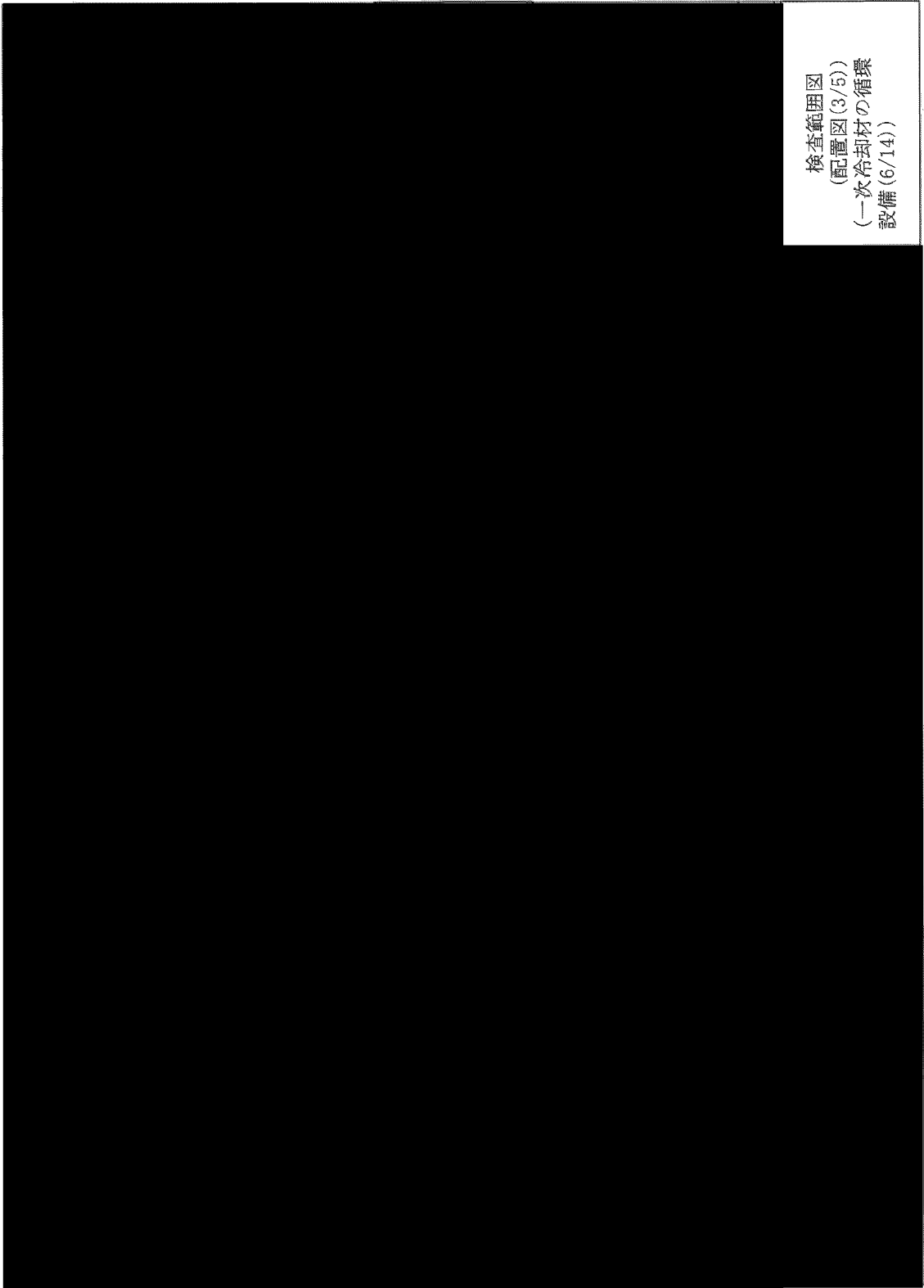
検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査 (代替検査)	放射線透過 写真等級分類 ケージ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	H30.12.17 H31.12.31	定規目盛
						試験視野 目盛
						きすの長径 目盛
						算定しないきす の最大のきす 目盛
以下余白						



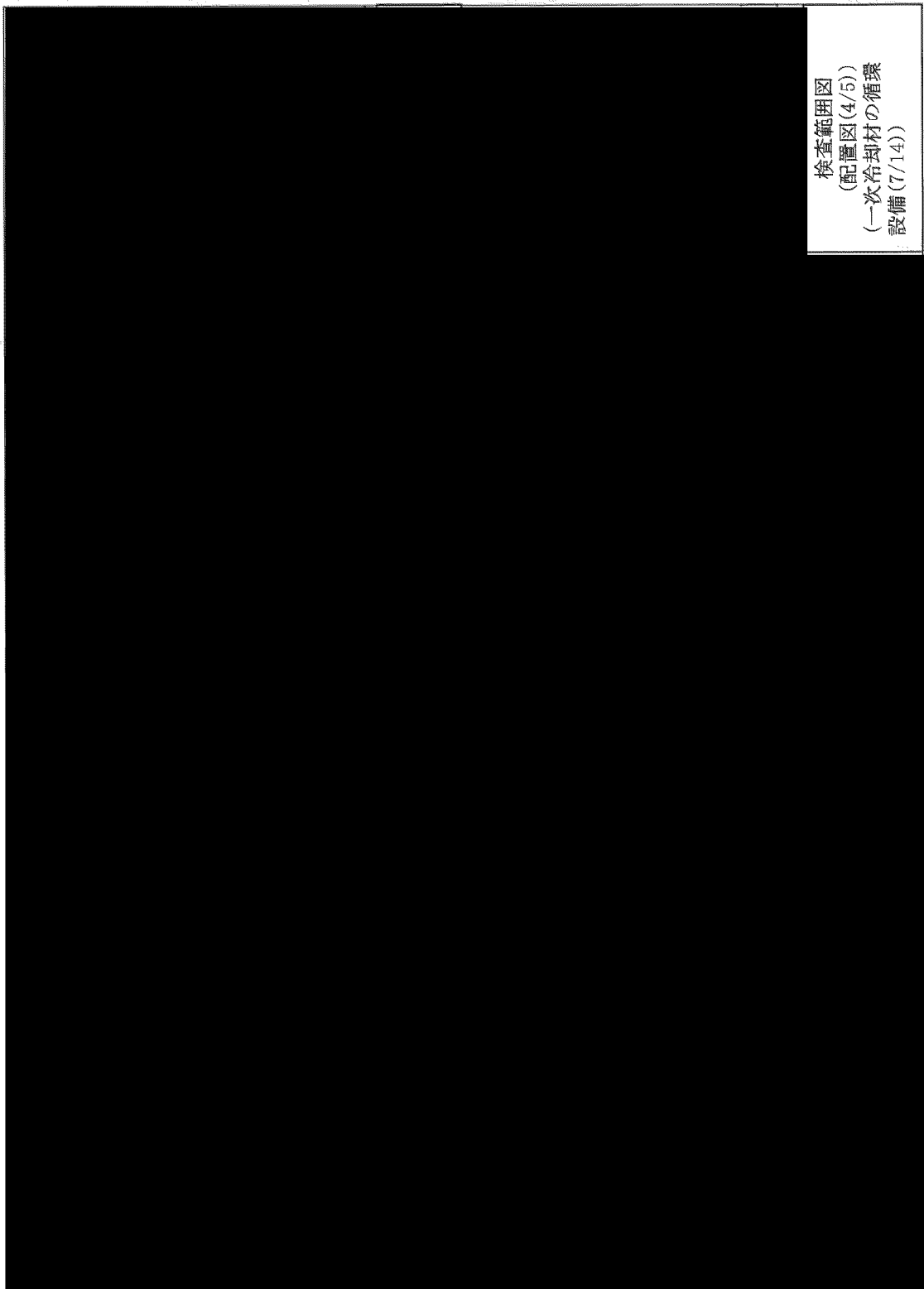
検査範囲図
(配置図(1/5))
(一次冷却材の循環
設備(4/14))



検査範囲図
(配置図(2/5))
(一次冷却材の循環
設備(5/14))



検査範囲図
(配置図(3/5))
(一次冷却材の循環
設備(6/14))



検査範囲図
(配置図(4/5))
(一次冷却材の循環
設備(7/14))



検査範囲図
(配置図(5/5))
(一次冷却材の循環
設備(8/14))

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名：原子炉冷却系統施設

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽

格納容器再循環サンプルA

格納容器再循環サンプルB

要領書番号：原規規収第1712152号2-07-1

令和元年8月

原子力規制委員会

使用前検査成績書







- 1 発電所名 関西電力株式会社 美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日)
関原発第427号(平成30年 3月16日)
関原発第 62号(平成30年 4月20日)
関原発第158号(平成30年 6月25日)
関原発第201号(平成30年 7月 4日)
関原発第414号(平成30年12月 5日)
関原発第517号(平成31年 2月 6日)
関原発第 61号(令和 元年 5月16日)
関原発第121号(令和 元年 6月28日)
~~関原発第167号(令和元年 7月25日)~~
- 4 検査期日 自 令和元年 7月 3日
至 令和元年 8月 6日
- 5 検査場所 関西電力株式会社 美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽
格納容器再循環サンプルA 1個
格納容器再循環サンプルB 1個
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
- 8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 検査用計器一覧表

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和元 年 7月3日	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  推賀 康正 </div> <div style="text-align: center;">  高橋 和宏 </div> </div>	発電用原子炉 主任技術者 	なし
令和元 年 8月6日	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  高須 洋司 </div> <div style="text-align: center;">  水戸 侑哉 </div> </div>	発電用原子炉 主任技術者 	なし
年 日		主任技術者	

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
貯蔵槽

格納容器再循環サンプルA

格納容器再循環サンプルB

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け 状態を確認する検査	備考
検査日	令和 元 年 7 月 3 日	令和 元 年 7 月 3 日	令和 元 年 7 月 3 日	年 月 日	
結果	良	良	良		
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	令和 元 年 8 月 6 日	
結果				良	
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果					

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 7月3日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 8月6日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 7月3日	良	
		令和元年 8月6日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 7月3日	良	
		令和元年 8月6日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 7月3日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 7月3日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 7月3日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 7月3日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 7月3日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 7月3日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 7月3日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月6日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器再循環サンプルA：1個
 格納容器再循環サンプルB：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材 料	検査年月日	検査結果	検査方法
格納容器 再循環サンプルA	鉄筋コンクリート	令和元年 7月3日	良	記録確認
格納容器 再循環サンプルB				

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-1307

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器再循環サンプルA：1個
 格納容器再循環サンプルB：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象		主要寸法 ^{※1} (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
格納容器 再循環サンプルB	たて	■	■	■	令和元 7月3日	良	目視 記録確認
格納容器 再循環サンプルB	横	■	■	■	令和元 7月3日	良	目視 記録確認
格納容器 再循環サンプルA	仕切壁 高さ	■	■	■	令和元 7月3日	良	目視 記録確認
格納容器 再循環サンプルB		■	■	■	令和元 7月3日	良	目視 記録確認
格納容器 再循環サンプルA	仕切壁 厚さ	■	■	■	令和元 7月3日	良	目視 記録確認
格納容器 再循環サンプルB		■	■	■	令和元 7月3日	良	目視 記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器再循環サンプルA：1個
 格納容器再循環サンプルB：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
格納容器再循環サンプルA	令和元 7月3日	良	目視
格納容器再循環サンプルB	令和元 7月3日	良	目視

備考

- ・塗装施工前の状態で確認

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設
 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 貯蔵槽
 格納容器再循環サンプルA：1個
 格納容器再循環サンプルB：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
格納容器再循環サンプルA	令和元年 8月6日	良	目視
格納容器再循環サンプルB	令和元年 8月6日	良	目視

備考

- 目視可能な範囲での塗装後の外観（有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。）も含めて確認。

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日： 令和 元年 7月 3日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	コンベックス				2019/5/16 2021/5/15	
以下余白						

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：2-07-2

令和2年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-07-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月3日
至 令和2年6月3日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-07-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月3日	良	大江 勇人 	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-07-2

検査年月日：令和2年 6月 3日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-07-2

検査年月日：令和2年 6 月 3 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-07-2

検査年月日：令和2年 6月 3日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 ろ過装置 格納容器再循環サンプスクリーン：2個 別紙1～3参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0110 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

設 備 概 要

除くの特長を記載

1. 放射線照射装置の施設に係るもの(蒸気タービンに係るものを除く。)にあっては、次の事項

7. 圧力容器の検査設備士の放射線照射装置に係る次の事項

(4) 圧力容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、制数及び取付簡図

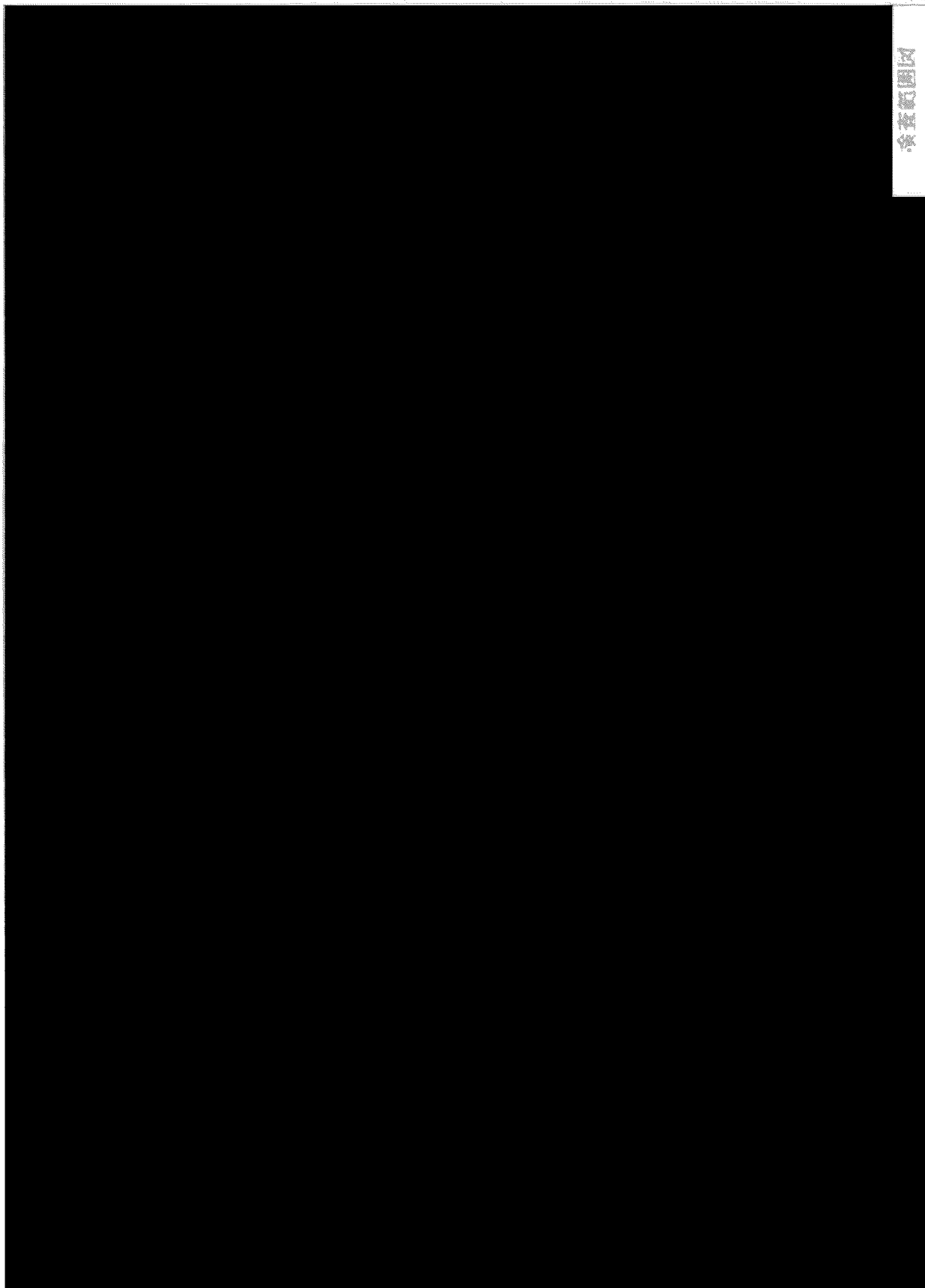
変 更 前			変 更 後
	格納容器再循環サンプスクリーン		変更なし
	サンプスケール		変更なし
		m ³ /h	変更なし
		MPa	(0.26)
		°C	122
		mm	変更なし
		mm	変更なし
		mm	変更なし
		mm	変更なし
		mm	変更なし
		mm	変更なし

変 更 前			変 更 後
	格納容器再循環サンプスクリーン		格納容器再循環サンプスクリーンA
	格納容器再循環サンプ		格納容器再循環サンプスクリーンB
			格納容器再循環サンプA
			格納容器再循環サンプB
			変更なし

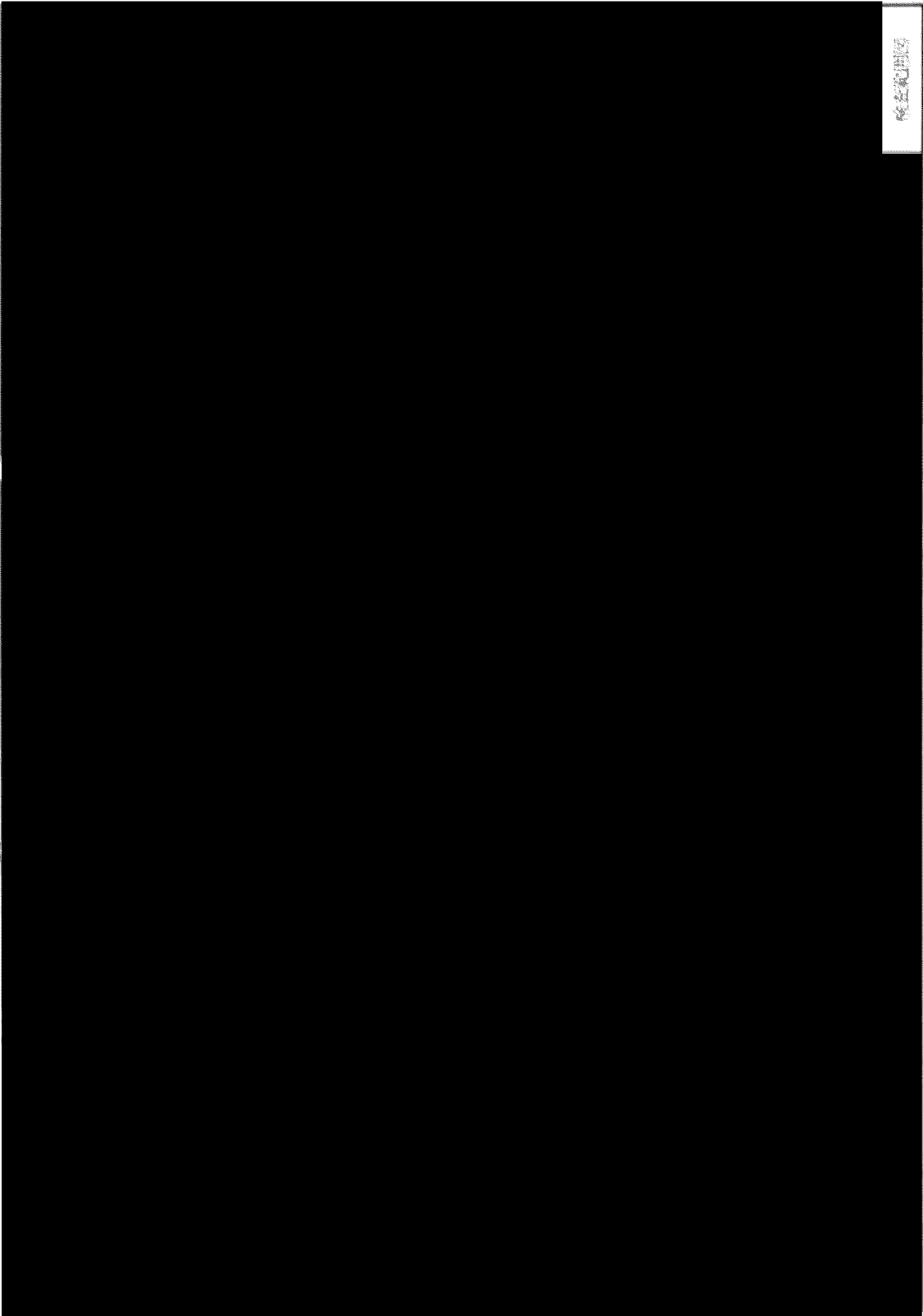
- 0.11) 1系統当たりの流量を示す。
- 0.12) 有効送込水頭がポンプに必要な有効送込水頭 XXXXXXXXXX 以上。
- 0.13) 有効送込水頭の設計値は、XXXXXXXXXX。
- 0.14) 公称値
- 0.15) 有効送込水頭の設計値は、XXXXXXXXXX。
- 0.16) 格納容器再循環サンプスクリーンは、その機能及び取組上必要機能を必要としな、ため、最高使用圧力は適用されないが、ここでは、原子炉格納容器の最高使用圧力を()内に示す。
- 0.17) 重大事故等時における使用圧力値
- 0.18) 記載値は公称値であり、単位単位での寸法を示す。
- 0.19) 1kg/cm²当たりの質量を示す。
- 0.110) 記載の適正化を行う。既に検査向きには「ASTMA240 TP304 (SUS304相当)」と記載
- 0.111) 系列数を示す。
- 0.112) 1系列 XXXXXXXXXX
- 0.113) 1系列 XXXXXXXXXX
- 0.114) 以上事項検査に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、取り付ける機器を示す。
- 0.115) 以上事項検査に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

☐ 検査範囲

調査範囲図



資料目録



関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

構造、強度又は漏えいに係る
使用前検査成績書

施設名 : 原子炉冷却系統施設
計測制御系統施設
原子炉格納施設

系統名 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
ほう酸注入機能を有する設備
圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク

要領書番号 : 原規規収第 1712152 号 2-08

令和元年 10 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社 美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 構造、強度又は漏えいに係る使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第216号(2019年9月2日)
関原発第427号(平成30年3月16日)
関原発第62号(平成30年4月20日)
関原発第158号(平成30年6月25日)
関原発第201号(平成30年7月4日)
関原発第414号(平成30年12月5日)
関原発第517号(平成31年2月6日)
関原発第61号(2019年5月16日)
関原発第121号(2019年6月28日)
関原発第167号(2019年7月25日)
- 4 検査期日 自 平成30年11月20日
至 令和元年10月8日
- 5 検査場所 三菱重工業株式会社
パワードメイン 原子力事業部
兵庫県明石市二見町








関西電力株式会社 美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設
原子炉冷却系統施設
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設
ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設
圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)
容器
燃料取替用水タンク 1個
- 7 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり

8 検査結果 検査結果一覧表のとおり

9 添付資料 使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 材料検査記録
- 3 寸法検査記録
- 4 外観検査記録
- 5 組立て及び据付け状態を確認する検査記録
- 6 耐圧検査、漏えい検査記録

検査実施者一覧表

検査年月日	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
平成30年 11月20日	 村上恒夫  須貝実	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし
令和元年 9月5日	 須貝実	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし
令和元年 10月8日	 須貝実	ボイラー・タービン 主任技術者 	なし

検査結果一覧表

系統名：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、ほう酸注入機能を有する設備、圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
 容器
 燃料取替用水タンク

検査項目	材料検査	寸法検査	外観検査	組立て及び据付け状態を確認する検査	耐圧検査、漏えい検査	備考
検査日	平成30年 11月20日	平成30年 11月20日	平成30年 11月20日	令和元年 10月8日	令和元年 9月5日	
結果	良	良	良	良	良	
検査日	令和元年 9月5日	令和元年 9月5日	令和元年 10月8日	年 月 日	年 月 日	
結果	良	良	良			
検査日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
結果						

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	平成30年 11月20日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 9月5日	良	
		令和元年 10月8日	良	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。	記録確認	平成30年 11月20日	良	
		令和元年 9月5日	良	
		令和元年 10月8日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 11月20日	良	
		令和元年 9月5日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 11月20日	良	
		令和元年 9月5日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 11月20日	良	
		令和元年 9月5日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 11月20日	良	
		令和元年 9月5日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	平成30年 11月20日	良	
		令和元年 9月5日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	平成30年 11月20日	良	
		令和元年 10月8日	良	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	平成30年 11月20日	良	
		令和元年 10月8日	良	

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 10月8日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 10月8日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

耐圧検査、漏えい検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 9月5日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 9月5日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 9月5日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和元年 9月5日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		
	立会/ 記録確認	年 月 日		

美浜発電所第3号機

材料検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	使用材料	検査年月日	検査結果	検査方法
胴板	[REDACTED]	令和元年 9月5日	良	記録確認
屋根板		令和元年 9月5日	良	
平板		平成30年 11月20日	良	
側マンホールふた		令和元年 9月5日	良	

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0103

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

~~三菱重工株式会社 パワードメイン 原子力事業部~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
 容器
 燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法※ ¹ (mm)	許容寸法※ ² (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
胴内径				令和元年 9月5日	良	記録確認
胴板厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0103

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備

原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）

容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法※ ¹ (mm)	許容寸法※ ² (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
屋根板厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認
平板厚さ				平成30年 11月20日	良	記録確認
出口管台(余熱除去ポンプ) 外径				令和元年 9月5日	良	記録確認
出口管台(余熱除去ポンプ) 厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認
出口管台(内部スプレポンプ) 外径				令和元年 9月5日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0103

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

~~三菱重工株式会社 パワードメイン 原子力事業部~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法※1 (mm)	許容寸法※2 (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
出口管台(内部スプレッド)厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認
給水入口管台外径				令和元年 9月5日	良	記録確認
給水入口管台厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認
出口管台(充てん/高压注入ポンプ)外径				令和元年 9月5日	良	記録確認
出口管台(充てん/高压注入ポンプ)厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。

※3：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0103

美浜発電所第3号機

寸法検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

~~三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 ^{※1} (mm)	許容寸法 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査結果	検査方法
出口管台(燃料取替用水ホヅン [°])外径				令和元年 9月5日	良	記録確認
出口管台(燃料取替用水ホヅン [°])厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認
側マンホール管台 外径				令和元年 9月5日	良	記録確認
側マンホール管台 厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認
側マンホールふた 厚さ				令和元年 9月5日	良	記録確認
高さ				令和元年 9月5日	良	記録確認

備考

※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。 ※3：最小値

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0103

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、
浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	平成30年 11月20日	良	目視 記録確認

備考

・塗装施工前の状態で確認。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~

~~※1：適合性確認検査成績書の識別番号~~

※：検査対象のうち、平板について確認。

美浜発電所第 3 号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

~~三菱重工株式会社 パワードメイン 原子力事業部~~

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1 個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、
浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	令和元年 10月8日	良	目視 ※2 記録確認

備 考

- ・塗装施工前の状態で確認。
- ・記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。

※1：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0103

※2：検査対象のうち、平板以外について確認。

美浜発電所第3号機

外観検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器

燃料取替用水タンク：1個

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	令和元年 10月8日	良	目視 記録確認

備考

・組立て及び据付け状態で確認。

~~記録確認は、申請者の品質記録（※1）による。~~

~~※1：適合性確認検査成績書の識別番号~~

美浜発電所第3号機

組立て及び据付け状態を確認する検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）
容器
燃料取替用水タンク：1個

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	令和元年 10月8日	良	目視 記録確認

備考

~~記録確認は、申請者の品質記録（※）による。~~~~※ 適合性確認検査成績書の識別番号~~

美浜発電所第3号機

耐圧検査、漏えい検査記録

検査場所：関西電力株式会社 美浜発電所

検査範囲：原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備
 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備
 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)
 容器
 燃料取替用水タンク：1個

判定基準：
 ・検査圧力に耐え、かつ、異常がないこと。
 ・著しい漏えいがないこと。

検査対象	最高使用 圧力※1	耐圧検査 規定圧力	耐圧検査時 圧力	保持 時間 (分)	漏えい 検査時圧力	水圧、気圧 区分	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料取替用水タンク	大気圧	静水頭圧	静水頭圧	11	静水頭圧	水圧	令和元年 9月5日	良	目視 記録確認

備考

※1：重大事故等時における使用時の値。

~~記録確認は、申請者の品質記録(※2)による。~~
~~※2：適合性確認検査成績書の識別番号~~

・平板の溶接部について、局部漏えい検査及び非破壊試験 (☑放射線透過試験、☑超音波探傷試験、☑浸透探傷試験) を申請者が実施した結果、異常のないことを申請者の記録により確認。☑確認

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99
成績書管理番号：2-09

令和2年7月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：2-09

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月11日
至 令和2年7月14日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第343号(平成29年12月15日)
	関原発第427号(平成30年3月16日)
	関原発第62号(平成30年4月20日)
	関原発第158号(平成30年6月25日)
	関原発第201号(平成30年7月4日)
	関原発第414号(平成30年12月5日)
	関原発第517号(平成31年2月6日)
	関原発第61号(2019年5月16日)
	関原発第121号(2019年6月28日)
	関原発第167号(2019年7月25日)
	関原発第216号(2019年9月2日)
	関原発第640号(2020年3月24日)
	関原発第650号(2020年3月30日)
	関原発第30号(2020年4月7日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-09

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月12日	良	大江 勇人	ボイラー・タービン 主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 6月 11日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 6 月 12 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年6月12日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設 化学体積制御設備、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、ほう酸水注入機能を有する設備 主配管 A、B、C 充てん/高圧注入ポンプ出口レギュレーサ (4×3) ~A、B、C 充てん/高圧注入ポンプ出口合流点 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0203 ・目視で確認した範囲： ※1：別紙1~4、14参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 6月 12日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管：一式※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0203 ・目視で確認した範囲： ※1：別紙5～13，15参照			

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
<small>(注20)</small> A、B、C 充てん/高圧 注入ポンプ 出口レジューサ (4×3) ~ A、B、C 充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点	18.8 <small>(注19)</small>	150	88.9 <small>(注2)</small>	11.1 <small>(注2,4)</small>	SUS27TP	<small>(注15)</small> A、B、C 充てん/高圧 注入ポンプ 出口レジューサ (4×3) ~ A、B、C 充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点	変更なし	変更なし	88.9 <small>(注2)</small>	11.1 <small>(注2)</small>	変更なし
化学体積制御設備			88.9 <small>(注2,21)</small>	11.1 <small>(注2)</small>	SUS304TP	化学体積制御設備			89.1 <small>(注22)</small>	11.1 <small>(注22)</small>	変更なし

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
化学体積制御設備	18.8 (F10)	150	114.3 (E2.11)	11.1 (E2.11)	(F11) SUS32TP	A、B、C 充てん/高圧 注入ポンプ 出口 レジューサ (4×3) ～ A、B、C 充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点	18.8 (F10)	150	114.3 (E2.11)	11.1 (E2.11)	(F11) SUS32TP
				88.9 (E2.11)	(F11) ASTM A182 F304 (SUSF304相当)						
化学体積制御設備				9.7 (E2.11)		化学体積制御設備				9.7 (E2.11)	
				88.9 (E2.11)						88.9 (E2.11)	
				88.9 (E2.11)						88.9 (E2.11)	
				11.1 (E2.11)						11.1 (E2.11)	
				11.1 (E2.11)						11.1 (E2.11)	
				—						—	
				—						—	

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-LCV-460) ～抽出水再生クラーレレジューサ (3×2)」と記載
- (注2) 公称値
- (注3) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。
- (注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8149A、B、C) ～抽出水非再生クラー」と記載
- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 6.1」と記載
- (注7) 公称値は既工事計画書に記載がないため適正化を行う。
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 6.1 / (最小) 6.1 / (最小) 6.1」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-LCV-115B) ～レジューサ (8×4)」と記載
- (注10) SI単位に換算したものである。
- (注11) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-LCV-115R) ～レジューサ (8×4)」及び「レジューサ (8×4) ～充てん/高圧注入ポンプ入口ライン集合母管」と記載
- (注13) 当該箇所については、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口ライン集合母管」と記載
- (注15) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8706A、B) ～充てん/高圧注入ポンプ入口ライン集合母管」と記載
- (注17) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-LCV-115D、E) ～充てん/高圧注入ポンプ入口ライン集合母管」と記載

(注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口ライン集合母管～A、B、C充てん/高圧注入ポンプ」と記載
(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C充てん/高圧注入ポンプ出口レジュューサ (4×3) ～充てん/高圧注入ポンプ出口ライン集合母管」と記載

(注21) SUS27TP同等材 (SUS304TP) への取替えを行う。

(注22) 重大事故等時に使用

(注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口ライン集合母管レジュューサ (4×3) ～レジュューサ (4×3)」と

記載

(注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (4×3) ～弁 (3-8107)」と記載

(注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8107) ～抽出水再生クラーラ入口」と記載

(注26) 重大事故等時における使用時の値

(注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「抽出水再生クラーラ～弁 (3-8146)」と記載

(注28) 記載内容は、既工事計画器申請書 (平成24年2月7日付け関原発第465号工事計画器申請書、平成24年2月28日付け平成24・02・07原第8号にて認可) による。なお、本工事計画は、認可された工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。

(注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8146) ～弁 (3-8378B)」と記載

(注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (4×3) ～弁 (3-8105)」と記載

(注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-8105) ～レジュューサ (3×2)」と記載

(注32) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (3×2) ～各冷却材ポンプ用封水の分岐点」と記載

(注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (2×1) ～弁 (3-8369A、B、C) ～レジュューサ (2×1)」と記載

(注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (2×1) ～レジュューサ (2×1 1/2)」と記載

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項
 (8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・高圧

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
C充てん/高圧 注入ポンプ 入口分岐点	0.98	95	48.3	3.7	STPG42	変更なし	変更なし		48.3	3.7	STPG370
C充てん/高圧 注入ポンプ 冷却水入口配管 合流点						変更なし	変更なし				
C充てん/高圧 注入ポンプ 冷却水入口配管 合流点	0.98	95	48.3	3.7	STPG42	変更なし	変更なし		48.3	3.7	STPG370
C充てん/高圧 注入ポンプ入口						変更なし	変更なし				

5

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
C充てん/高圧注入ポンプ冷却水入口配管合流点 ~ C充てん/高圧注入ポンプ入口						変更なし	0.98	95	48.6 / 48.3 / —	3.7 / 3.7 / —	STT410
									(差込み部のみ) 500mmφ	(最小) 5.5	ASTM A105 Gr II (S25C相当)

6

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
原子炉種検査装置	0.98	95	48.3	3.7	STPG42	変更なし	0.98	95	48.3	3.7	STPG370
									48.3	3.7	STPG40
C充てん/高圧 注入ポンプ出口 C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点	0.98	95	-	-	-	変更なし	0.98	95	(差し込み 部平均)	(最小)	ASTM A105 G-II (S25C 相当)
									48.7	5.5	(5.5)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉循環冷却設備 C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点 C充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点	0.98	95	48.3	3.7	STPC12	原子炉循環冷却設備	変更なし	変更なし	48.3	3.7	STPT570

7

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉循環冷却設備 C充てん/高圧 注入ポンプ入口 分岐点 (社冷却器)0 C充てん/高圧 注入ポンプ冷却水 入口配管 合流点 (社冷却器)0	0.98	95	60.3	3.9	STPC12	原子炉循環冷却設備	変更なし	変更なし	60.3	3.9	STPT570

8

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
(売てん/高圧注入ポンプ冷却水入口配管 全洗点 (相冷却器側))	0.98	95	60.3	3.9	STPK42	変更なし	変更なし	変更なし	60.3	3.9	STP7S70
(売てん/高圧注入ポンプ入口 (相冷却器側))			—				0.98	95	60.3	3.9	STP7S70

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					変更なし
C充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側)	0.98	95	60.3	3.9	STTG12	変更なし			60.3	3.9	STPT370
~ C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側)											

10

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					変更なし
C充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側)						変更なし			60.3	3.9	STPT110
~ C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側)							0.98	95	60.5	3.9	ASTN A105 Gr II (S25C 種別)

10

変更前				変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
原子炉用機器冷却設備											
C充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側)						変更なし			73.0 (最大)	4.5 (最小)	ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点(油 冷却器側)						変更なし	0.98	95	(差し込み 部のみ) 61.1	6.0 (5.2 / 6.0)	
原子炉用機器冷却設備											
C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側)			60.3	3.9	STTG42	変更なし			60.3	3.9	STTG370
C充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点 (油冷却器側)	0.98	95				変更なし					

11

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプ～中間建屋入口」と記載
- (注2) SI単位に換算したものである。
- (注3) 公称値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SSA1」と記載。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 魚人事故等時における使用時の値
- (注6) 本設備は既存の設備である。
- (注7) エルボを示す。
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー～中間建屋入口～30B管と30B管との分岐点」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「直管JWA G106 異形管JWA G106」と記載。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー～30B管と30B管との分岐点～弁 (S-6509B) 」と記載
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー～30B管と30B管との分岐点～B1次系冷却水クーラ入口分岐点」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～A、B1次系冷却水クーラ」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「C1次系冷却水クーラ入口分岐点～レジューサ (30×24) 」及び「レジューサ (30×24) ～C1次系冷却水クーラ」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C1次系冷却水クーラ～海水母管合流点」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B1次系冷却水クーラ出口合流点～A、Bヘッダー～フランジ (30×28) 」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～レジューサ (10×8) 」と記載
- (注17) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (2×1 1/2) ～レジュメサ (3×2)」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジュメサ (12×10)」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (12×10) ～レジュメサ (10×6)」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レジュメサ (6×4)」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (10×6) ～レジュメサ (6×4)」と記載
- (注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (6×4) および分岐点～レジュメサ (4×2)」と記載
- (注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注73) 当該箇所については、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注74) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器循環空調装置～レジュメサ (4×2) および合流点」と記載
- (注75) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (4×2) ～レジュメサ (6×4) および合流点」と記載
- (注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (6×4) ～合流点」及び「NS-39A戻り管～合流点」と記載
- (注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (12×10) ～1次系機器冷却水戻り母管合流点」と記載
- (注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ入口分岐点～ポンプ入口」と記載
- (注80) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷水ラインとの連絡管」と記載
- (注81) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ～出口合流点」と記載
- (注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん/高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置戻りライン合流点」と記載
- (注83) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュメサ (4×3) ～レジュメサ (4×3)」と記載
- (注84) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。



1. 調査の目的	調査の目的
2. 調査の範囲	調査の範囲
3. 調査の方法	調査の方法
4. 調査の結果	調査の結果
5. 調査の結論	調査の結論

検査結果一覧表

成績書管理番号：2-09

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和2年 7月14日</p>	<p>良</p>	<p>中国 聡 足立 恭</p>	<p>ボイラー・タービン 主任技術者</p>	<p>なし</p>

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年7月13日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年7月¹³/₁₄日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：2-09

検査年月日：令和2年 7 月 ¹³/₁₄ 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管 ※1 レジューサ (20×14) ~B 内部スプレクーラ入口配管合流点 C 充てん/高圧注入ポンプ冷却水入口配管合流点~C 充てん/高圧注入ポンプ入口 C 充てん/高圧注入ポンプ出口~C 充てん/高圧注入ポンプ出口配管分岐点 C 充てん/高圧注入ポンプ冷却水入口配管合流点 (油冷却器側) ~C 充てん/高圧注入ポンプ入口 (油冷却器側) C 充てん/高圧注入ポンプ出口 (油冷却器側) ~C 充てん/高圧注入ポンプ出口配管分岐点 (油冷却器側)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-1-0230、M3-1-0219 ・目視で確認した範囲：— ※1：別紙16~31参照			

設 備 概 要

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

(次ページより記載)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注27) レジャーサ (20×14) ～ B内部スプレ クーラ 入口配管合流点	(注2) 0.98	95	(注3) 355.6	(注3) 9.5	STPG42	変更なし	変更なし	変更なし	(注3) 355.6	(注3) 9.5	STPT370
							(注3) 355.6	(注3) 95	(注3) 216.3	(注3) 8.2	STPT370
原子炉補機冷却設備											
(注27) B内部スプレ クーラ 入口配管合流点 ～ B内部スプレ クーラ	(注2) 0.98	95	(注3) 355.6	(注3) 9.5	STPG42		変更なし	変更なし	(注3) 355.6	(注3) 9.5	STPT370
原子炉補機冷却設備											

1

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注79)					原子炉補機冷却設備					
C充てん/高圧 注入ポンプ冷却水 入口配管合流点 ~ C充てん/高圧 注入ポンプ入口						変更なし	(注5) 0.98	(注5) 95	(注3) 48.6 / 48.3 / -	(注3) 3.7 / 3.7 / -	(注6,7) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

2

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
C充てん/高压 注入ポンプ冷却水 入口配管合流点 ~ C充てん/高压 注入ポンプ入口			-			変更なし	0.98	95	48.7	(注6) 5.5 /	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
(注81) 原子炉補機冷却設備 C充てん/高圧 注入ポンプ出口 ～ C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点	(注2) 0.98	95	(注3) 48.3	(注3) 3.7	STPG42	原子炉補機冷却設備 変更なし	変更なし	変更なし	48.3	3.7	STPT370
							(注5) 0.98	(注6) 95	(注3, 6, 7) (差し込み部の内径) 48.7	(注6, 7) (最小) 5.5	(注6, 7) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
原子炉補機冷却設備	(注81)				(注6)		
	C充てん/高圧 注入ポンプ出口 ～ C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点	(注5) 0.98	(注5) 95	(注5) 48.7 /	(注6) 5.5 /	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)	
原子炉補機冷却設備				変更なし			
				(注5) 48.7 /	(注3) 5.5 /		
				(注5) 48.7 /	(注3) 5.5 /		

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備						原子炉補機冷却設備					
C充てん/高圧 注入ポンプ冷却水 入口配管 合流点 (油冷却器側) ~ C充てん/高圧 注入ポンプ入口 (油冷却器側)			-			変更なし	0.98 (注5)	95 (注6)	73.0 / (差し込み部の内径)	4.5 / (最小) 6.0 (注3)	ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
									(注3, 5, 7) (差し込み部の内径) 61.1	(注6, 7) (最小) 6.0 (注3) (6.0)	(注6, 7) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	径厚 (mm)	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備	(注11)					原子炉補機冷却設備					
C充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側)						変更なし	(注5) 0.98	(注6) 95	(注3) 60.3 / 60.5 / -	(注3) 3.9 / 3.9 / -	STPT410
~ C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側)			-				0.98	95	(注3,6,7) (差し込み 部の内径)	(注3,6,7) (最小) 6.0	(注6,7) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

5

5

変更前				変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
原子炉補機冷却設備											
(注17) C充てん/高圧 注入ポンプ出口 (油冷却器側) ～ C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側)	—	—	—	—		変更なし	(注5) 0.98	(注5) 95	73.0 — (差し込み 部の内径) 61.1	(注6) 4.5 — (最小) 6.0 (注3) (5.2 — 6.0)	(注6) ASTM A105 Gr II (S25C 相当)
原子炉補機冷却設備											
(注17) C充てん/高圧 注入ポンプ 出口配管分岐点 (油冷却器側) ～ C充てん/高圧 注入ポンプ 出口合流点 (油冷却器側)	0.98	95	(注3) 60.3	(注3) 3.9	STPG42	変更なし	変更なし	変更なし	(注3) 60.3	(注3) 3.9	STPT370

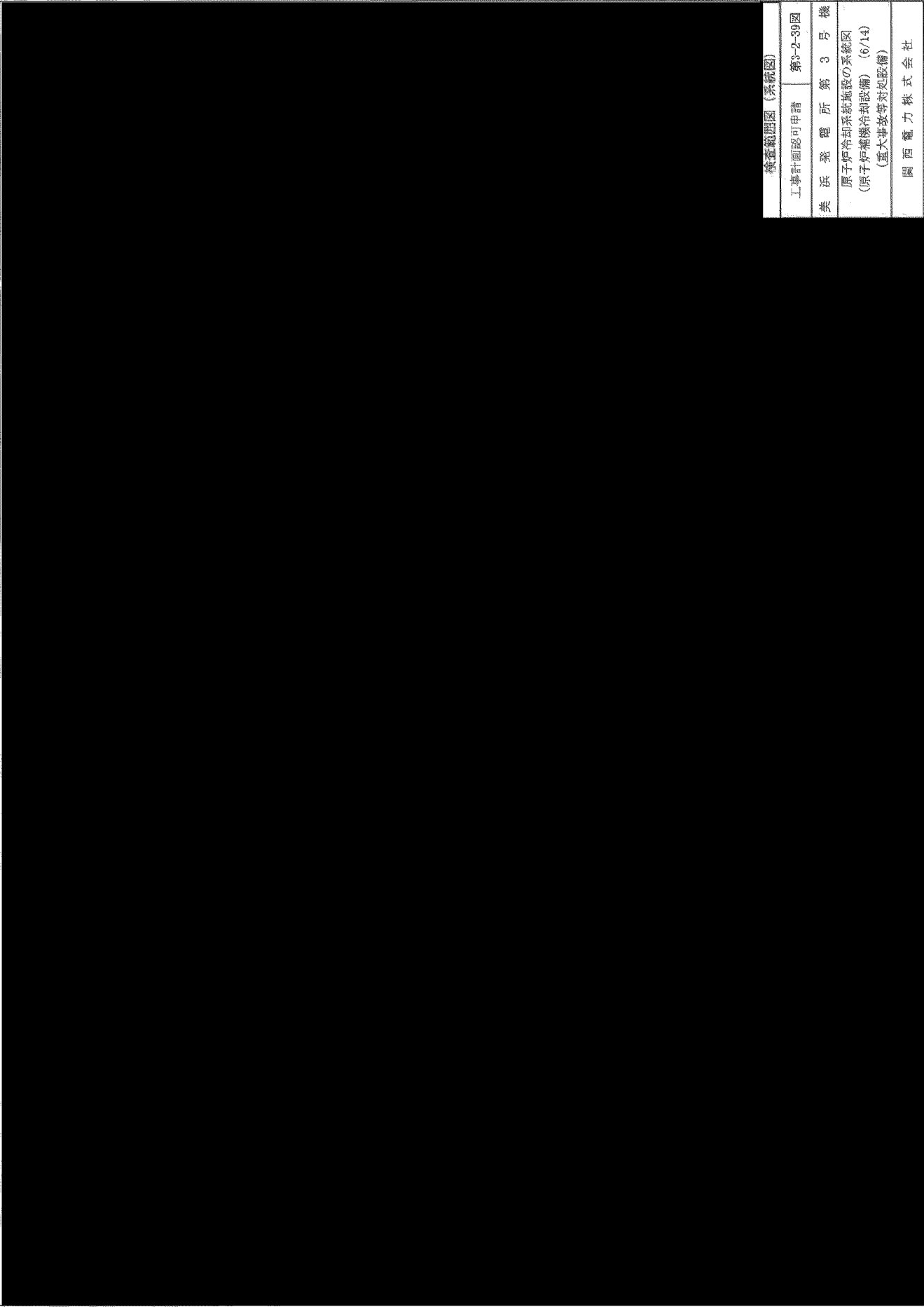
- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプ～中間建屋入口」と記載
- (注2) ST単位に換算したものである。
- (注3) 公称値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注5) 重大事故等時における使用時の値
- (注6) 本設備は既存の設備である。
- (注7) エルボを示す。
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー中間建屋入口～30B管と36B管との分岐点」と記載
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「直管JWWA G105 異形管JWWA G106」と記載。なお、記載内容は、設計図書による。
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー30B管と36B管との分岐点～弁 (3-6509B)」と記載
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッダー30B管と36B管との分岐点～B1次系冷却水クーラー入口分岐点」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～A、B1次系冷却水クーラー」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「C1次系冷却水クーラー入口分岐点～レジェューサ (30×24)」及び「レジェューサ (30×24) ～C1次系冷却水クーラー」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C1次系冷却水クーラー～海水母管合流点」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「B1次系冷却水クーラー出口合流点～A、Bヘッダーフランジ (30×28)」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～レジェューサ (10×8)」と記載
- (注17) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電装置入口連絡管」と記載
- (注19) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジェューサ (10×8) ～ディーゼル発電装置」と記載
- (注21) STPG42同等材料 (STPG410) への取替えを行う
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電装置～レジェューサ (12×8)」と記載

- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (12×8) ～チラーユニット出口合流点」及び「合流点～海水母管合流点」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C1次系冷却水クーラ～テイ (20×20×16)」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ出口連絡管」と記載
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッドテイ：(20×20×16) ～レジュューサ (20×14)」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (20×14) ～内部スプレクーラ」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Cヘッド：テイ (16×16×16) ～レジュューサ (16×12)」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジュューサ (16×12) ～レジュューサ (12×10)」と記載
- (注30) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「Cヘッド：レジュューサ (16×12) ～テイ (20×20×16)」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッド：内部スプレクーラ～レジュューサ (20×14)」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、Bヘッド：レジュューサ (20×14) ～テイ (20×20×16)」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口連絡管」と記載
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「テイ (20×20×16) ～A、B、C、D1次系冷却水ポンプ」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口レジュューサ (16×12) ～テイ (20×20×16)」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口連絡管」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、D1次系冷却水ポンプ出口テイ (20×20×16) ～A、C1次系冷却水クーラ入口テイ (20×20×16)」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ入口連絡管」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「テイ (20×20×16) ～A、B、C1次系冷却水クーラ」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～A、B余熱除去クーラ (RH-2)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B余熱除去クーラ (RH-2) ～戻母管合流点」と記載
- (注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～A、B、C冷却材ポンプへの分岐点」と記載

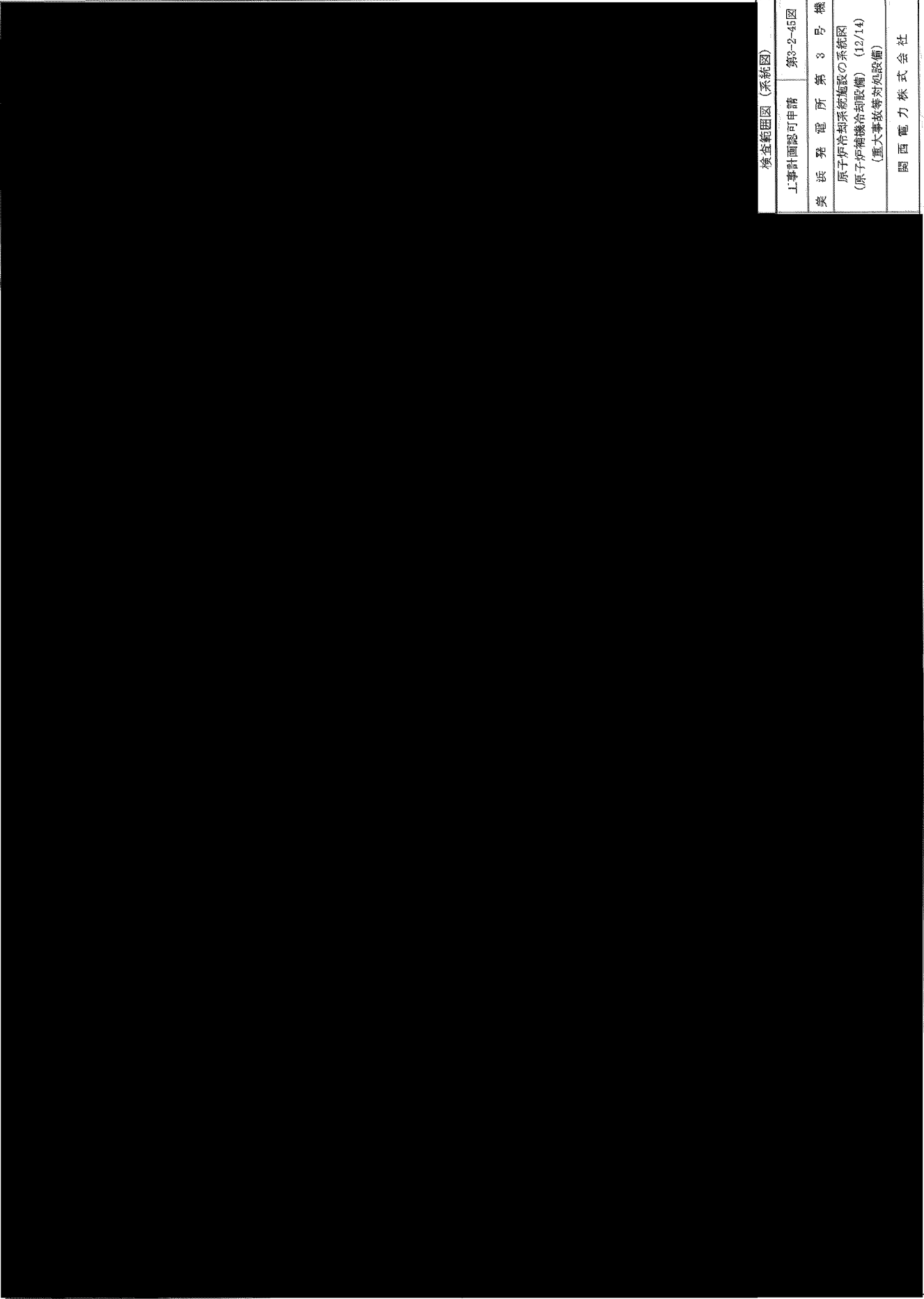
- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C冷却材ポンプからの合流点～弁 (3-FCV-1241)」と記載
- (注45) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
なお、記載内容は、設計図書による。
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B、C冷却材ポンプからの合流点～レジューサ (8×6)」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口分岐点～弁 (3-5105A、B)」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (3-5105A、B) ～1次系冷却水タンク」と記載
- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「A、B1次系機器冷却水母管分岐点～燃料ピットクローラ」と記載
- (注50) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料ピットクローラ～A、B1次系機器冷却水戻り母管合流点」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却水母管分岐点～余剰抽出水クローラ」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余剰抽出水クローラ～1次系機器冷却水戻り母管」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管～IA-1A、IA-1B計器用空気圧縮機パッケージ入り口レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「IA-1A、IA-1B計器用空気圧縮機パッケージ出口レジューサ (2×1 1/2) ～1次系機器戻り母管」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余熱除去ポンプおよび内部スプレッポンプ室空調装置入り口レジューサ (3×2)」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻り母管合流点およびレジューサ (3×2)」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (4×2)」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～1次系機器冷却水戻り母管合流点」と記載
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよびスプレッポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～レジューサ (2×1 1/2)」と記載

- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ冷却ライン分岐点～余熱除去ポンプ入口レギュレーサ (1 1/2×1/2)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (2×1 1/2) ～内部スプレポンプ入口分岐点」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ入口分岐点～レギュレーサ (1×1/2)」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ出口合流点」と記載
- (注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ出口レギュレーサ (1 1/2×1/2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却ライン合流点」と記載
- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (2×1 1/2) ～レギュレーサ (3×2)」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レギュレーサ (12×10)」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (12×10) ～レギュレーサ (10×6)」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～レギュレーサ (6×4)」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (10×6) ～レギュレーサ (6×4)」と記載
- (注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (6×4) および分岐点～レギュレーサ (4×2)」と記載
- (注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注73) 当該箇所については、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
- (注74) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器循環空調装置～レギュレーサ (4×2) および合流点」と記載
- (注75) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (4×2) ～レギュレーサ (6×4) および合流点」と記載
- (注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (6×4) ～合流点」及び「VS-39A戻り管～合流点」と記載
- (注77) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レギュレーサ (12×10) ～1次系機器冷却水戻り管合流点」と記載
- (注78) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注79) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ入口分岐点～ポンプ入口」と記載
- (注80) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷水ラインとの連絡管」と記載
- (注81) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ～出口合流点」と記載

- (注82) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口合流点～充てんポンプ室空調装置戻ライン合流点」と記載
- (注83) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×3) ～レジューサ (4×3)」と記載
- (注84) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。



検査範囲図 (系統図)	
工事計画認可申請	第3-2-39図
美浜発電所	第3号機
原子炉冷却系統補修の系統図 (原子炉補修冷却設備) (6/14) (重大事故等対応設備)	
関西電力株式会社	



検査範囲図 (系統図)

工事計画認可申請	第3-2-45図
美浜発電所	第3号機
原子炉冷却系統施設の系統図 (原子炉補機冷却設備) (12/14) (重大事故等対応設備)	
関西電力株式会社	